築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（４築－５）

業　務　報　告　書

令和　5　年 3　月

東京都第一市街地整備事務所

株 式 会 社 ノ　ガ　ミ

調　査　概　要

件　　名	築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（4 築－ 5）
調査地点	東京都中央区築地五丁目及び六丁目地内
調査面積	試掘坑①　172 ㎡
	試掘坑②　100 ㎡
	試掘坑③　250 ㎡
	試掘坑④　150 ㎡　　　合計 672 ㎡
調査期間	事前準備　令和 4 年 10 月 5 日～11 月 7 日の内、22 日間
	現地調査　令和 4 年 11 月 8 日～ 令和 5 年 3 月 9 日の内、80 日間
	整理作業　令和 5 年 1 月 5 日～ 3 月 17 日の内、47 日間
調査機関	株式会社ノガミ　関東支店
	現場代理人　：[redacted]
	主任調査技師　：
	副主任調査技師　：
	立 会 者　中央区教育委員会総括文化財調査指導員 [redacted]
検出遺構	試掘坑①　石積遺構 2 基・土丹 1 基
	試掘坑②　建物基礎列 1 列（柱跡 3）
	試掘坑③　石敷遺構（建物基礎ヵ）3 基、杭跡 8 基
	試掘坑④　レンガ基礎 1 基、杭跡 11 基
出土遺物	計 47,728 点（ 磁器 2,214 点、陶器 1,519 点、炻器 399 点、土器 156 点、木製品 9 点、金属製品 2 点、木製品 191 点、土製品 1 点、石製品 3 点、瓦 113 点、銭貨 10 点、レンガ片 43,082 点、ガラス 9 点、分析用サンプル資料（自然遺物 17 点、整地層土 3 点 ）
	＊レンガ片については、総重量から算出し、個数を表記したもの。
調査方法	1．各試掘坑範囲は、中央区教育委員会（以下、区教委という）の事前承認のもと、都市整備局立ち会いの上で設定した。
	2．試掘坑掘削作業は、区教委の指示のもと、幅 1 m、深さ 1 m の段状掘削を基本に、既存構造物等により適宜変更し重機を用い行った。遺構検出は人力で精査し、遺構調査後、写真及び測量記録を行った。
	3．平面図及び断面図の図化はトータルステーションを使用した。座標及び標高 (Tokyo Peil) は市場橋交差点北西の道路上の補助点 (3A482) を使用した。また、図中に示した方位は真北を示す。
	4．出土遺物は表土、盛土などの層位種別ごとに取り上げた。
	5．写真記録は 35mm 一眼レフカメラ（リバーサルフィルム・モノクロフィルム)、デジタル・一眼レフカメラを使用した。

調 査 日 誌 抄 録

11月8日　現場基地設営（仮設事務所設置、発電機・調査用具等搬入)、調査開始

試掘坑①

11月　8日　基準点測量・試掘坑位置設定、コンクリートガラ撤去作業　（一日目）

11月　9日　コンクリートガラ搬出作業（二日目)、1段目重機掘削及び遺構検出開始

11月14日　2段目重機掘削及び遺構検出

11月17日　遺構掘削及び記録作業（護岸遺構）

12月13日　中央区教育委員会による現場指導

12月20日　ドローンによる空撮作業

12月21日　遺構保護シート養生作業、年末・年始安全作業（安全ネット・点滅灯設置等）

12月22日　重機による埋め戻し作業開始

12月28日　埋め戻し作業、調査区清掃、調査終了

試掘坑②

11月14日　基準点測量、試掘坑位置設定

11月24日　アスファルト切断

12月12日　コンクリートガラ、路盤材撤去作業

1月10日　1段目重機掘削及び遺構検出開始

1月16日　2段目重機掘削及び遺構検出

2月　1日　３段目重機掘削及び遺構検出

2月16日　中央区教育委員会による現場指導

2月20日　遺構保護シート養生作業

2月24日　埋め戻し作業、調査区清掃

3月　9日　アスファルト敷設、調査終了

試掘坑③

11月14日　基準点測量、試掘坑位置設定

11月24日　アスファルト切断

1月13日　コンクリートガラ、路盤材撤去作業

1月20日　1段目重機掘削及び遺構検出開始

1月24日　2段目重機掘削及び遺構検出

2月　9日　３段目重機掘削及び遺構検出

2月16日　中央区教育委員会による現場指導

2月21日　遺構保護シート養生作業

2月27日　埋め戻し作業、調査区清掃
3月　9日　アスファルト敷設、調査終了

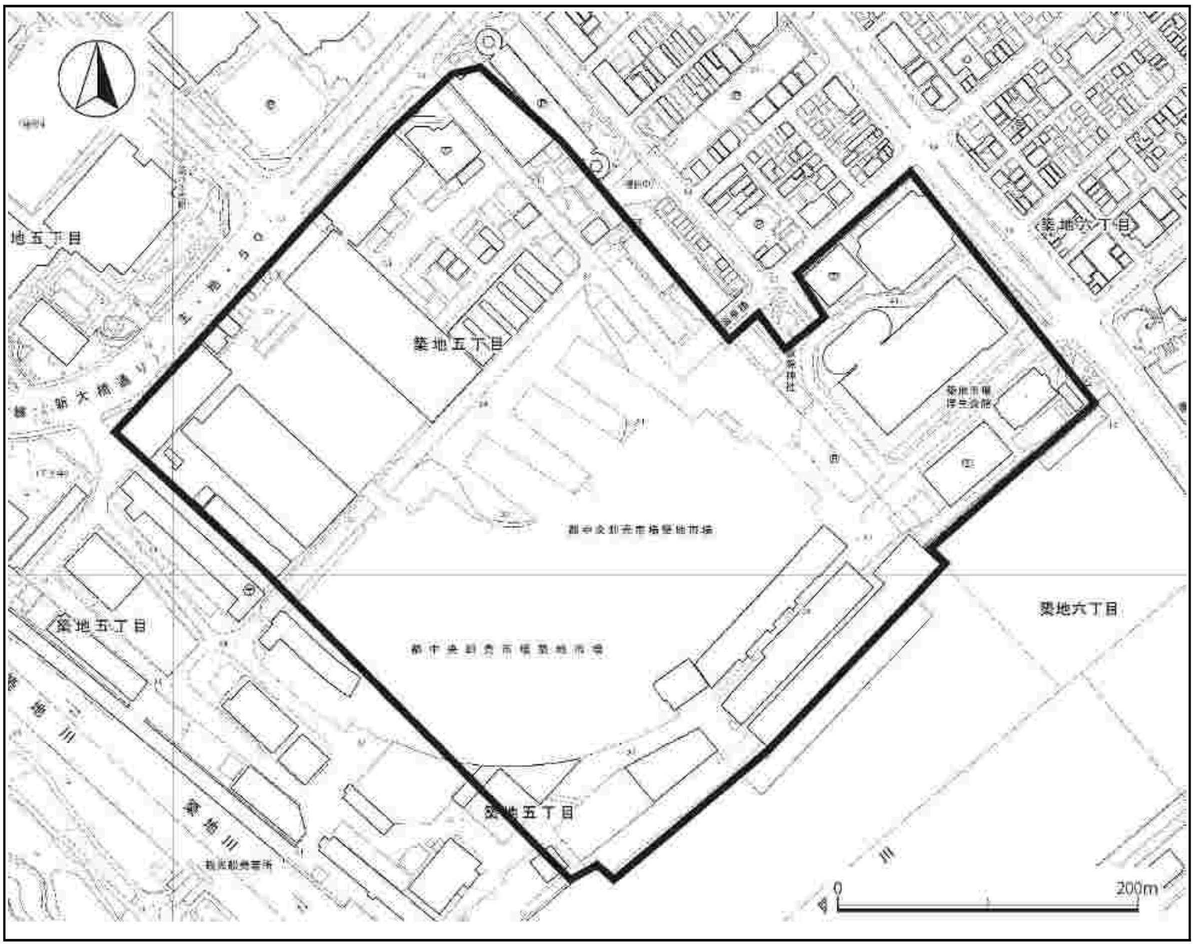
試掘坑④
11月14日　基準点測量、試掘坑位置設定
11月24日　アスファルト切断
12月　9日　コンクリートガラ、路盤材撤去作業
12月　7日　安全柵設置
12月14日　1段目重機掘削及び遺構検出開始
1月　9日　2段目重機掘削及び遺構検出
1月30日　3段目重機掘削及び遺構検出
2月16日　中央区教育委員会による現場指導
2月28日　遺構保護シート養生作業、埋め戻し作業、調査区清掃
3月　9日　アスファルト敷設、調査終了

地理的・歴史的環境

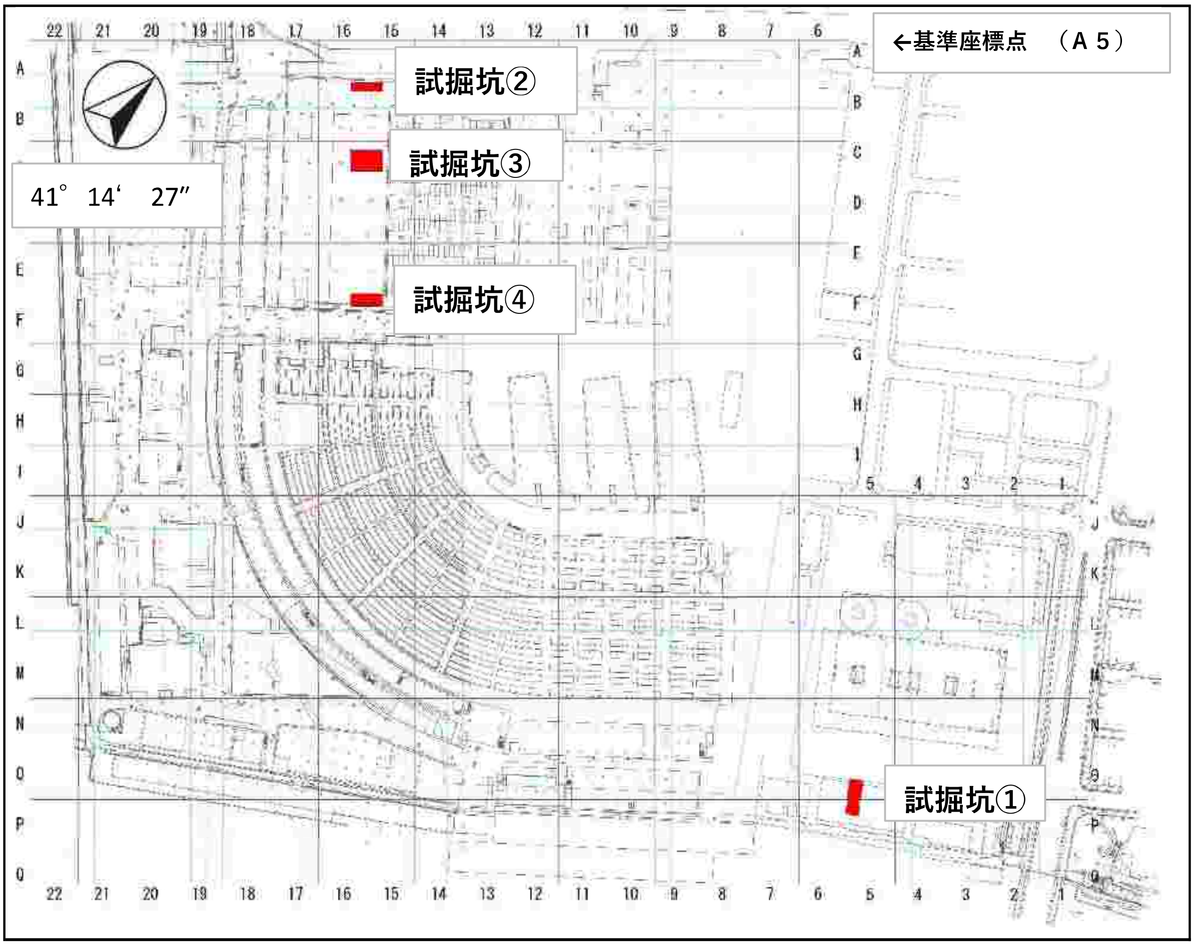
調査対象地である築地界隈は、江戸幕府開設時にはまだ陸地化しておらず、その後、造成事業が行われたが、試掘坑②～④の周囲は埋め立てから一貫して尾張徳川家の屋敷地だった可能性が高い。また、試掘坑①の周囲については、町人地から御米蔵を経て敷地は細分化され、享保年中（1716 ～ 1736）には森川出羽守、有馬内膳、辻新之亟、稲葉若狭守、などの拝領屋敷地となっている。しかし、文化5年（1808）になると拝領地が大きく集約され、佐倉藩主堀田相模守の屋敷地となり、文政13年（1830）には紀州藩邸となった。安政2年（1855）には幕府御用地となり、武芸の演習地である講武所を経て、文久2年（1862）には軍艦操練所となっている。

明治時代に入ると、当該地は外国人旅館である「築地ホテル館」（慶応4年（1868年）建設開始・同年明治元年完成）が開設されたが、経営不振に陥り明治5年（1872）にホテルは海軍へ譲渡されている。その後、海軍大学校や海軍主計練習所などの海軍省の主要施設や学校が建設され、しかし、大正12年（1923）に関東大震災を契機に海軍省は転出し、日本橋にあった魚河岸と京橋にあった大根河岸が海軍省から築地の用地を一部借り受け、一時的に公設市場が開設され営業を続けた。昭和10年（1935）には中央卸売市場として世界最大級の市場となり、第2次世界大戦後は米軍に一時的に接収されたが、平成30年（2018）年に市場が豊洲に移転するまで続いた。

1図 試掘調査地点（①～④）位置図



２図 試掘坑の配置とグリッド設定図



３図　試掘坑①～④エリアの変遷（近世以降）（１）

『江戸切絵図』 築地八町堀日本橋南絵図　嘉永２年－文久２年(１８４９－１８６２)刊 (国立国会図書館)

『水路部沿革史 』震災以前頃の海軍省空中写真（左）、明治10年（1877）海軍省内図面（右）(国立国会図書館)

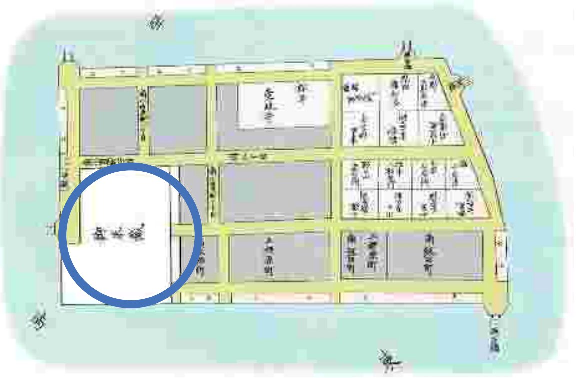
４図　試掘坑①～④エリアの変遷（近世以降）（２）

明治10年（1877）の海軍省敷地(海軍兵学校・海軍軍医学校ほか)と試掘坑①～④

（『水路部沿革史』(国立国会図書館)をはめ込んだ合成画像）

『水路部沿革史』文久元年(1861) (左)、明治元年(1868年)(右)(国立国会図書館)

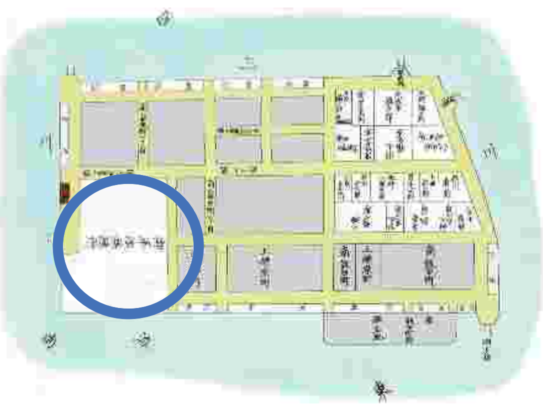
５図　試掘坑①～④エリアの変遷（近世以降）（３）



「御府内沿革図書」延寶年中(1673～1681)(左)、元禄年中(1688～1704)(右)

「御府内沿革図書」享保年中(1716～1736)(左)、文化５年(1808)(右)

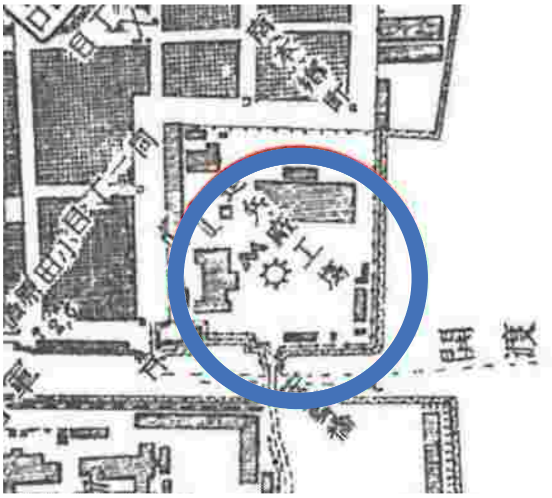
「御府内沿革図書」文政13年(1830)(左)、安政２～４年(1855～1857)(右)(中央区教育委員会)



「御府内沿革図書」文久2年(1862)（中央区教育委員会）

『五千分一東京図測量原図』明治17年(1884)
(国立国会図書館)

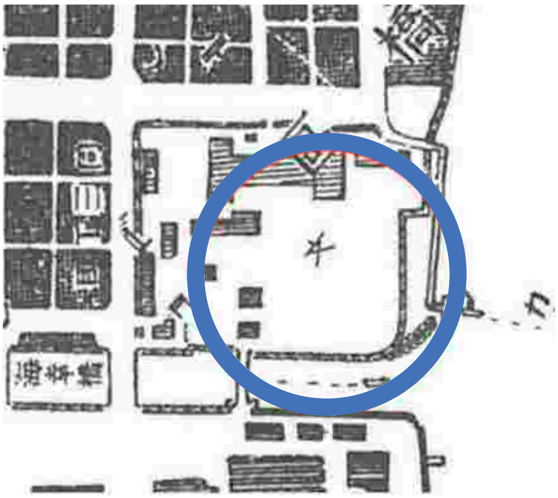
６図　試掘坑①～④エリアの変遷（近世以降）（４）



『東京1万分の１地形図修正集成』明治24年(1909)
(国立国会図書館)

「東京市京橋区」大正8年(1919)　東京逓信局作成
(国立国会図書館)

『東京1万分の１地形図修正集成』大正14年(1925)
(国立国会図書館)



『東京1万分の１地形図修正集成』　昭和12年(1937)
(国立国会図書館)

空中写真(浜離宮・旧築地市場)昭和22年(1947)
(国土地理院)

空中写真(旧築地市場)　昭和62年－平成2年(1987－1990)
(国土地理院)

調　査　成　果

試掘坑①

調査面積　172 ㎡

検出遺構　計 1 基（石積遺構 2 基・土丹 1 基）

出土遺物　点数 44,378 点、重量 8.604t （磁器 555 点、陶器 522 点、炻器 143 点、土器 29 点、瓦 82 点、木製品 11 点、ガラス製品 6 点、自然遺物 17 点、近代遺物 13 点、レンガ 43,000 点）

調査所見　現地の地表面標高（以下、GL という）は 3.24m～3.29m を測るが、すでに GL－1.90m～2.00m（ＴＰ＝約 1.30m）まで削平されている。また、TP＝0.70～1.10m までは褐色土主体の昭和時代の埋め立て層（第 1 層）であるが、第 1 層を取り除く過程で護岸遺構である石積遺構と土丹が検出され、これらの遺構はいずれも TP＝－1.20～1.10m の範疇で確認されたものである。石積遺構はＬ字状に屈曲しており、隅田川に併行するＡ列と直交するＢ列とで構成されている。Ａ列は 4 段組で高さ約 1.40m、Ｂ列は 12 段組で高さ約 2.30m である。また、Ａ列とＢ列では石垣を構成している間知石の規模が異なっており、Ａ列は面 32～66×38～48cm、控え 36～66cm、Ｂ列は面 30～36×41～44cm、控え 30cm 前後であった。また、Ａ列の間知石はＢ列との接地面の造りが粗雑であり間知石の規模も異なることから、Ａ列とＢ列が同時に構築されたとは考えにくく、いずれかの列を構築後に他方が構築されたものと推測される。また、間知石はすべて安山岩で造られており、刻印は認められなかった。

なお、Ａ列の石積遺構には基礎となる土丹が確認された。7 段組で、奥行 2.5m、高さ 0.54m 構築されている。また、石積遺構と土丹の高さはほぼ同一であるものの、位置によっては土丹の方が高くなっていることから、石垣の上段は取り除かれている可能性がある。なお、調査区西側の土丹とＢ列の石積遺構からは土管が確認されたが、双方ともに土丹や石積遺構を壊して設置している様子が見られた。また、土管設置後には土管の形状に成形した石を土管に被せて修復しており、土管設置時点で石積遺構は廃棄されておらず、機能していた可能性が高い。

石積遺構の構築時期については、遺構に伴う遺物が少なく、明確に把握することはできなかった。しかし、江戸時代中期の整地層である第 3 層より上面で石積遺構が構築されていることや、Ｂ列の土丹内から出土した遺物の大半は江戸時代に比定されること、Ｂ列の石垣の間から近代の遺物がわずかながら検出されたことなどから、Ａ列の石積遺構は江戸時代後期に、Ｂ列の石積遺構は明治時代に構築されたものと推測される。また、この石積遺構の用途であるが、これらの遺構が調査区内でＬ字状に位置していることから、舟入場であることが選択肢のひとつとして想定される。しかし、Ａ列の石積遺構については調査区外にどのように展開されるのか不明であるため、断定できるだけの判断材料に乏しく詳細は不明である。

次に石積遺構内側の埋土時期について述べていきたい。

当地点では大量のレンガが遺棄されており、重量から算出したレンガは、実に約 43,000 個（8.6t）を超える量である。また、二次焼成を受けているレンガも認められることから、関東大震災時（1923）に損壊した海軍省の建物に使用されていたものと推測される。

主な出土遺物は、L字状に屈折している石積遺構の前面と、第3整地層（近世の整地層TP＝0.13～0.66m）に集中している。L字状に屈折している石積遺構の前面から出土した遺物の時期は江戸時代中期から近代までに比定され、第3整地層から出土した遺物はいずれも17世紀後葉から18世紀前葉に比定される。当概期の遺物は、磁器は肥前系が主流となるが、陶器は唐津の鉢や丹下の擂鉢、瀬戸・美濃系の碗や皿が多く出土している。また、「泉州麻生」と銘記された焼塩壺が7点の他、波佐見の青磁片、唐津の大鉢、肥前京焼風陶器等が出土している。

なお、先述したレンガには刻印が押捺されているものが41点あり、試掘坑②～④出土煉瓦の刻印と合わせると、総出土数は57点に及ぶ。その内訳は以下のとおりである。

・「桜花」・・・4点（試掘坑①3点、試掘坑④1点）
・「扇」・・・ 23点（試掘坑①18点、試掘坑②1点、試掘坑④4点）
・「工」ヵ ・・1点（試掘坑①1点）
・「輪違い」・・9点（試掘坑①8点、試掘坑③点1点）
・「八」ヵ ・・7点（試掘坑①3点、試掘坑③1点、試掘坑④3点）
・「二」ヵ ・・4点（試掘坑③1点、試掘坑④3点）
・「矢筈」ヵ ・1点（試掘坑①1点）
・判読不明・・8点（試掘坑①6点、試掘坑④2点）

「桜花」は4点確認されたが、当遺跡周辺では、千代ケ崎砲台跡（明治28年竣工・東京湾の要塞）のほかに陸上自衛隊十条駐屯地などの軍事関連施設で確認される例が多い。なお、出土した「桜花」刻印のレンガは14種類の花章を刻印として用いていた小菅集治監製のレンガである可能性が高く、葛飾区「郷土と天文の博物館」所蔵、小菅集治監製煉瓦の「桜花」刻印と酷似している。

「扇」は、北区飛鳥山公園にある青淵文庫の露台基礎等に見られるが、今回の調査では一番点数が多く、23点を確認している。

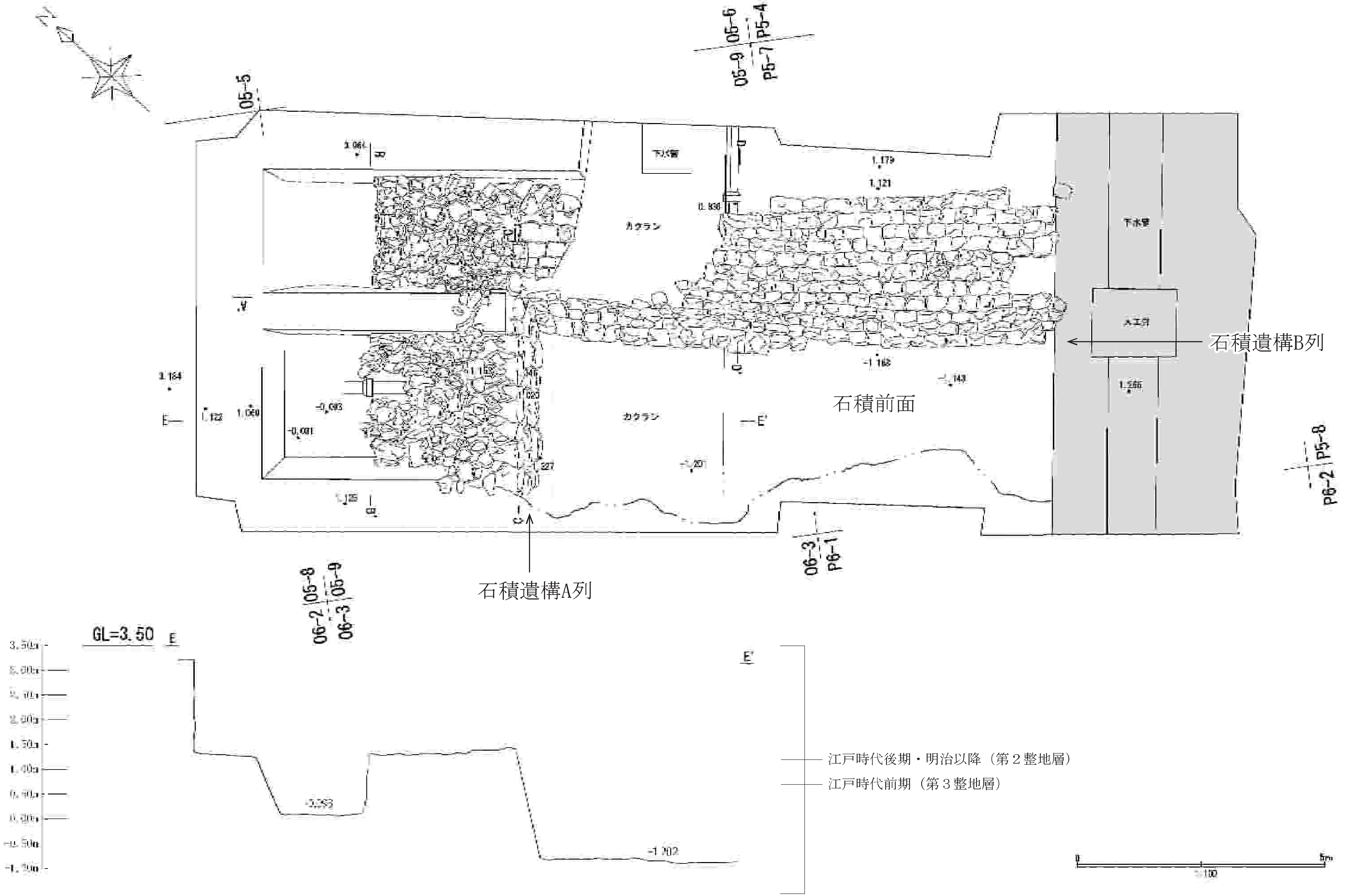
「輪違い」は、三菱製紙中川工場や日本煉瓦製造旧事務所に展示されている刻印と酷似しており、日本煉瓦製造所製の可能性が高い。

「二」ヵ、「八」ヵは、江の島サムエル・コッキング苑ほか全国各所で確認されており、製作所は複数存在するとみられる。

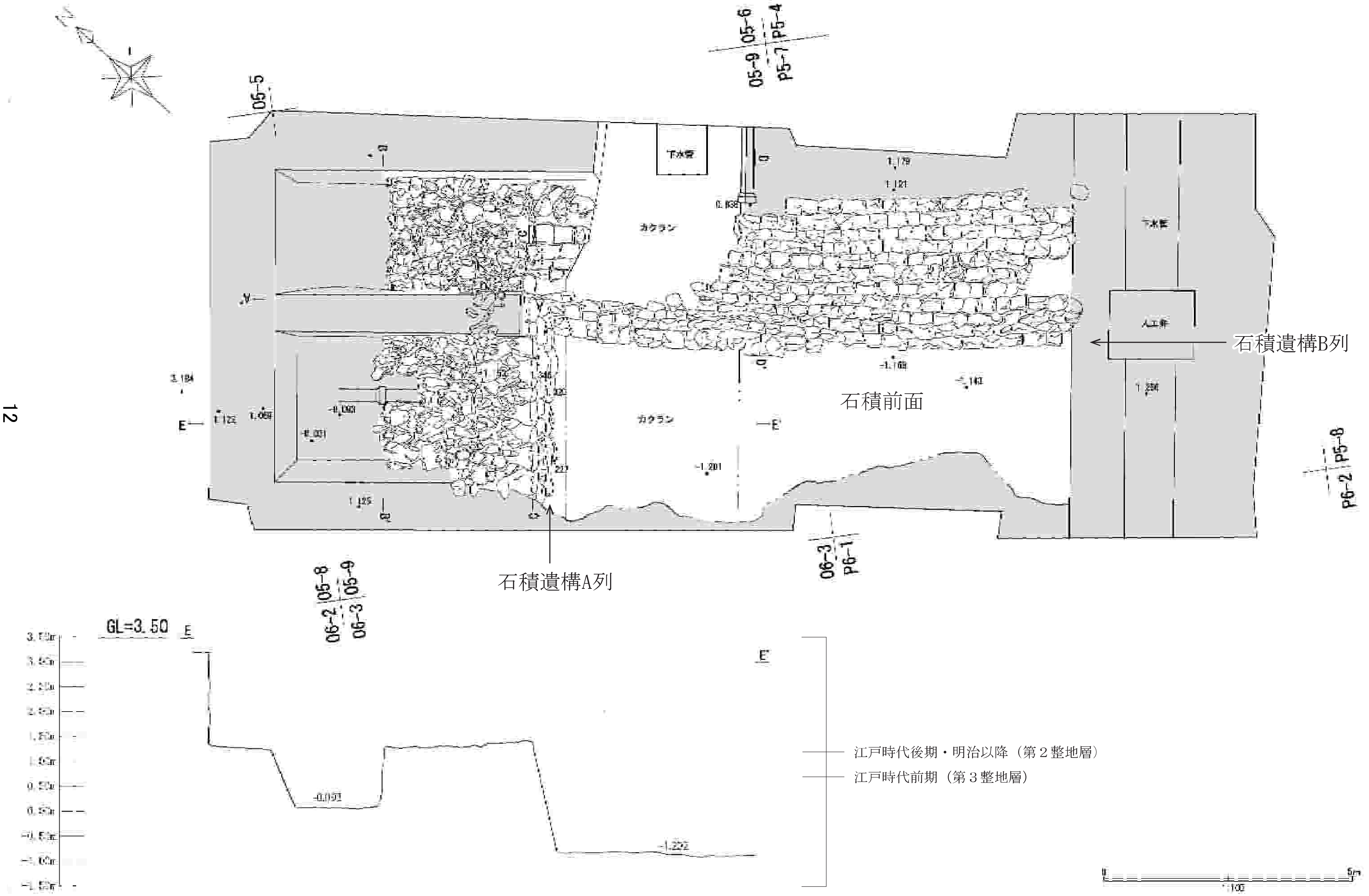
【参考文献・デジタル資料】

・水野信太郎 『日本煉瓦史の研究』 法政大学出版局 2013年4月
・葛飾区HP
・葛飾区郷土と天文の博物館展示資料
・「煉瓦刻印写真集」『歩鉄の達人』www.hotetu.net

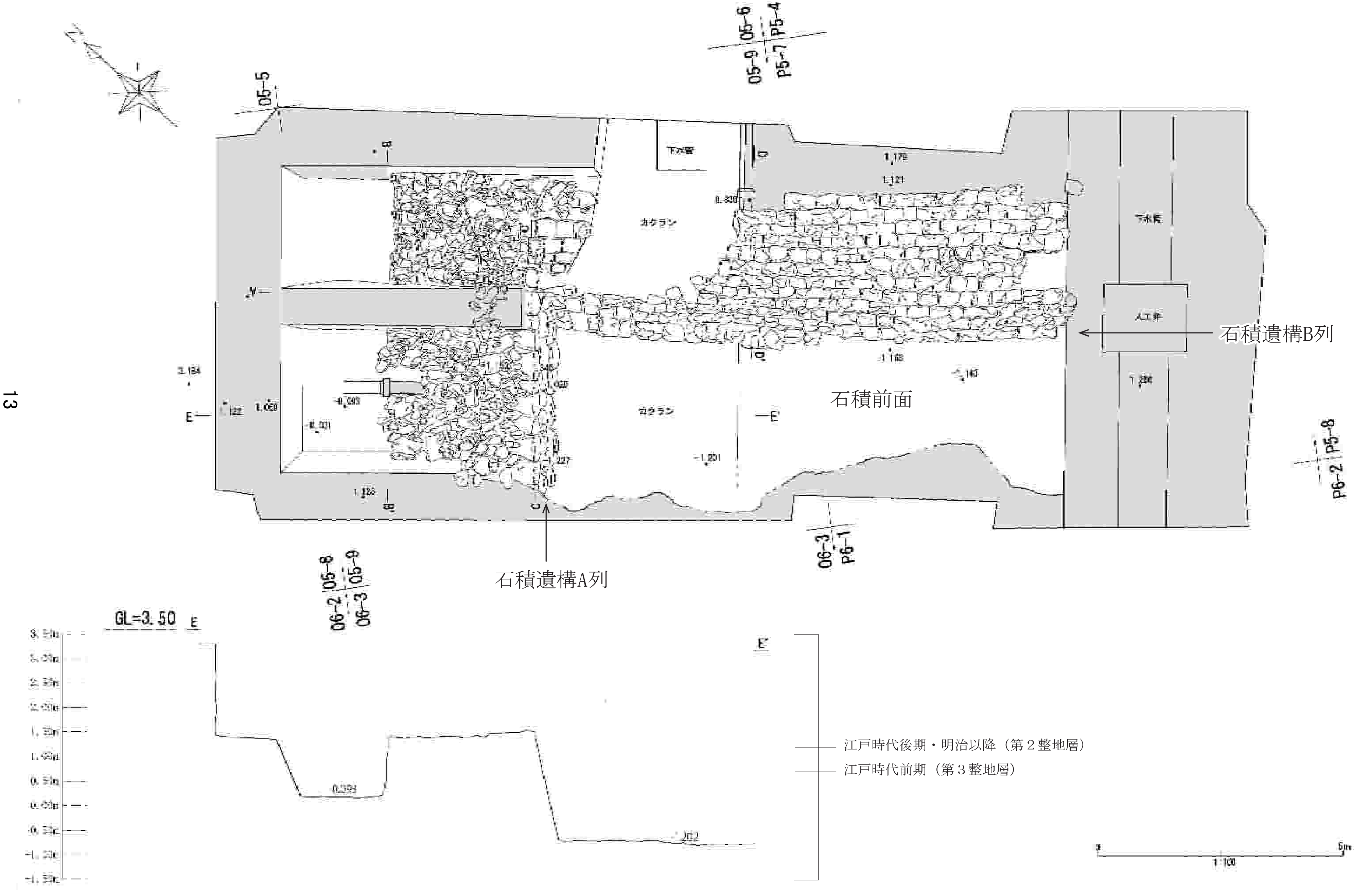
7 図 試掘坑①遺構平面図 (GL-1.3m)



８図　試掘坑①遺構平面図　（GL-2.0m）

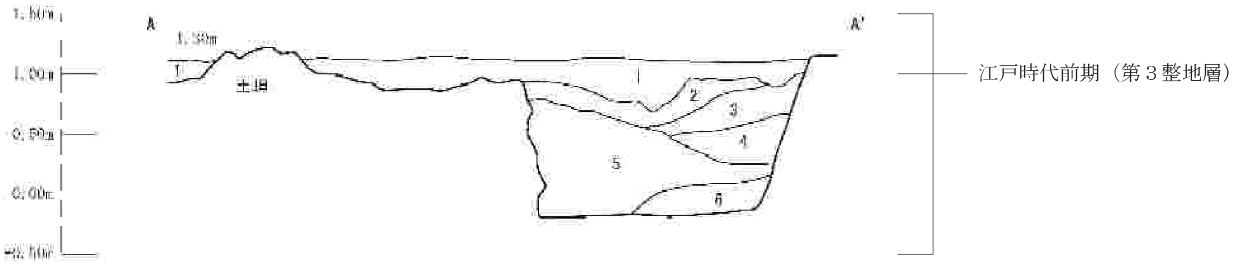


９図 試掘坑①遺構平面図 （GL-3.4ｍ）



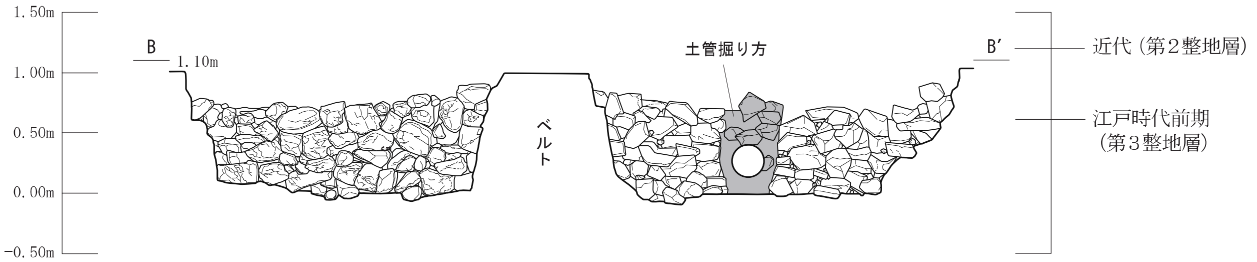
10図　試掘坑①土層

A-A′ライン土層



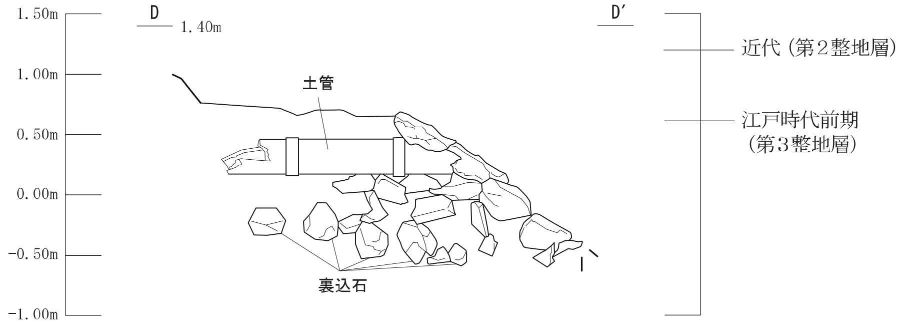
1．5GY5/1オリーブ灰色　砂質土　貝片を少量含む。　粘性なし。
2．7.5Y5/3灰オリーブ色　粘性やや強く、締りあり。
3．10Y6/1灰色　砂質シルト　径5mm大の炭化物粒子を少量含む。
4．10Y5/1灰色　砂質シルト　径5mm大の炭化物粒子と貝片を微量含む。
5．7.5Y5/1灰色　貝片を微量含む。粘性無し。
6．10Y4/2オリーブ灰色　径3～5cmの礫を微量含む。粘性なし。

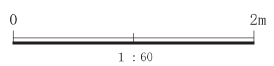
B-B′ライン土層



C-C′ライン土層

D-D′ライン土層





試掘坑②

調査面積　100 ㎡

検出遺構　計1列（建物基礎ヵ（柱跡3基））

出土遺物　点数1,124点、重量106.588kg（磁器599点、陶器281点、炻器91点、土器37点、瓦12点、木製品60点、銭貨（寛永通宝）2点、ガラス製品1点、近代遺物1点、銭貨8点、レンガ32点）

調査所見　1段目はTP=1.65mまで掘削し、マンホールの上部と近・現代のコンクリートガラやレンガ片が混在した撹乱土を確認した。この土層はシルトと砂質土を主体とした褐色土である。ちなみに試掘坑③・④でも同様の土質であった。

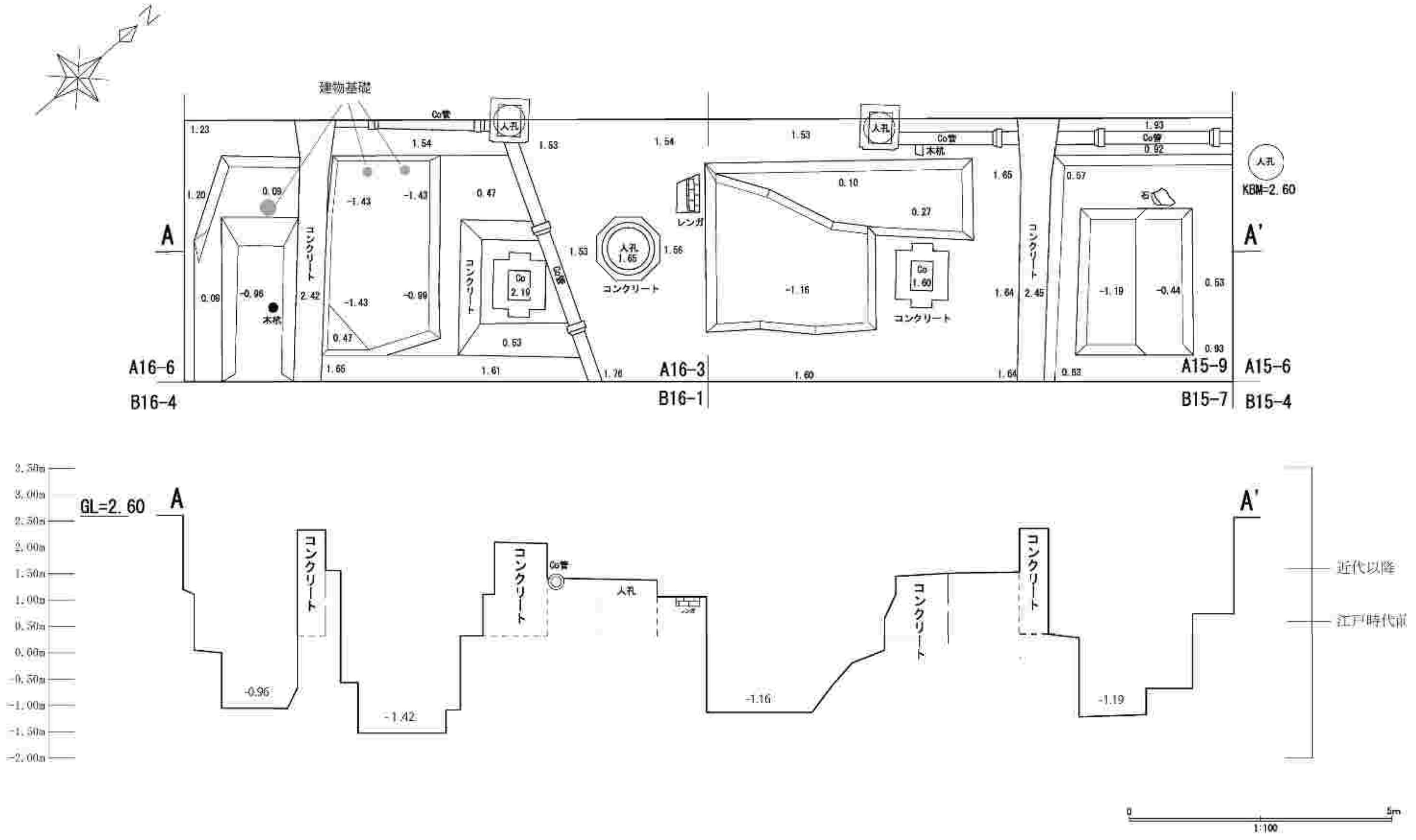
2段目はTP=0.53mまで掘削したが、近代の撹乱土を主とした盛土が堆積していた。また、遺物は昭和時代の空き缶等のほかに、近世の遺物も多く出土している。これらの遺物は、コンクリートガラやレンガ片と共に出土したため、整地時に混入したものと推測される。土層はシルトと砂質土を主体とした褐色土である。なお、調査区中央部は、埋設管の埋土とともにインフラ関係の埋設管が複数検出された。そのため、大部分が埋設に伴う客土であった。なお、近代の攪乱層を取り除いた際に、その直下で柱跡3基が並んで確認された。建物跡とみられ、大型の石囲いの柱基礎部分であった。位置的に尾張徳川家の建物跡とみられる。検出された基礎部は中心部に丸太3本が打ち込まれており、その周りを大型の自然石で囲った状態で確認された。なお、3本の丸太は自然石と同レベルで切断されており、大石と切断された丸太によって柱の基礎構造部を構築していた。しかし、本遺構の上部は遺存しておらず、石場立てか土台敷きかは不明である。なお、柱の基礎構造部分であるならば、丸太の上面には目潰し砂利が水平に敷かれ、その上に玉石が据えられていたものと推測される。

3段目はTP=0.37mまで掘削し、近世に比定される第3整地層の上面を確認した。
主な出土遺物は第3整地層（TP＝0.37～-1.19m）に集中していたが、主流を占める肥前系磁器では、波佐見製品が多くみられはじめ、また、雨降り文の碗や唐津の大皿など、17世紀後葉から18世紀前葉にかけての特徴をもつ遺物が多い。これらの遺物は多量の木片と共に出土しており、造成工事を目的とした埋め立て時に埋土とともに遺棄されたものと推測される。

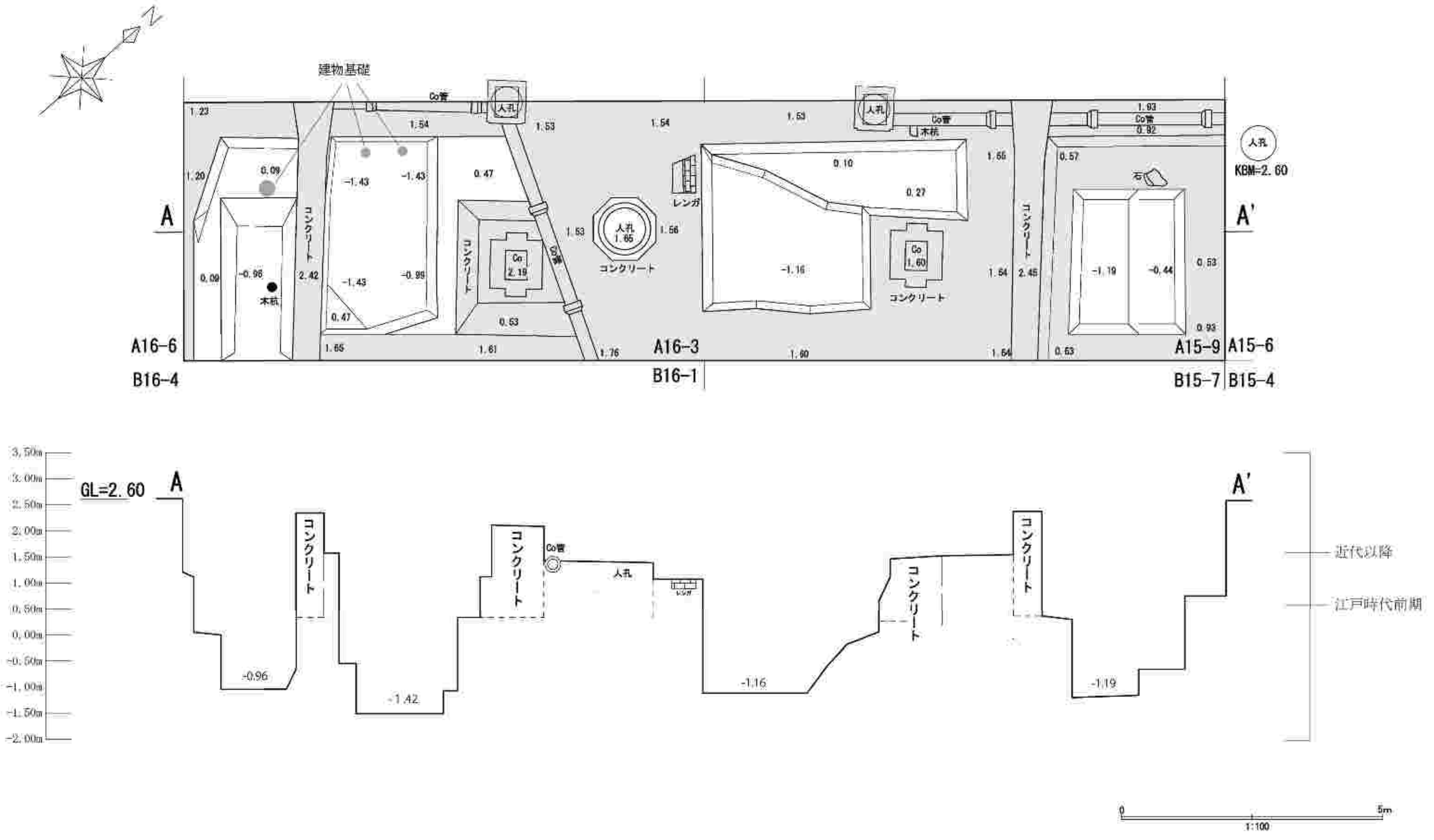
出土した木製品は、大半は家屋の資材であったが、ほかに曲物、箸、下駄等が出土している。その中でも曲物は多数出土しているが、大きさに差異があることから、様々な用途で使用されたことが窺われる。また、下駄は駒下駄が大半を占め、芳町下駄も少量出土したが、すべて白木の下駄である。

なお、出土した銭貨2点はいずれも寛永通宝で、古寛永であった。

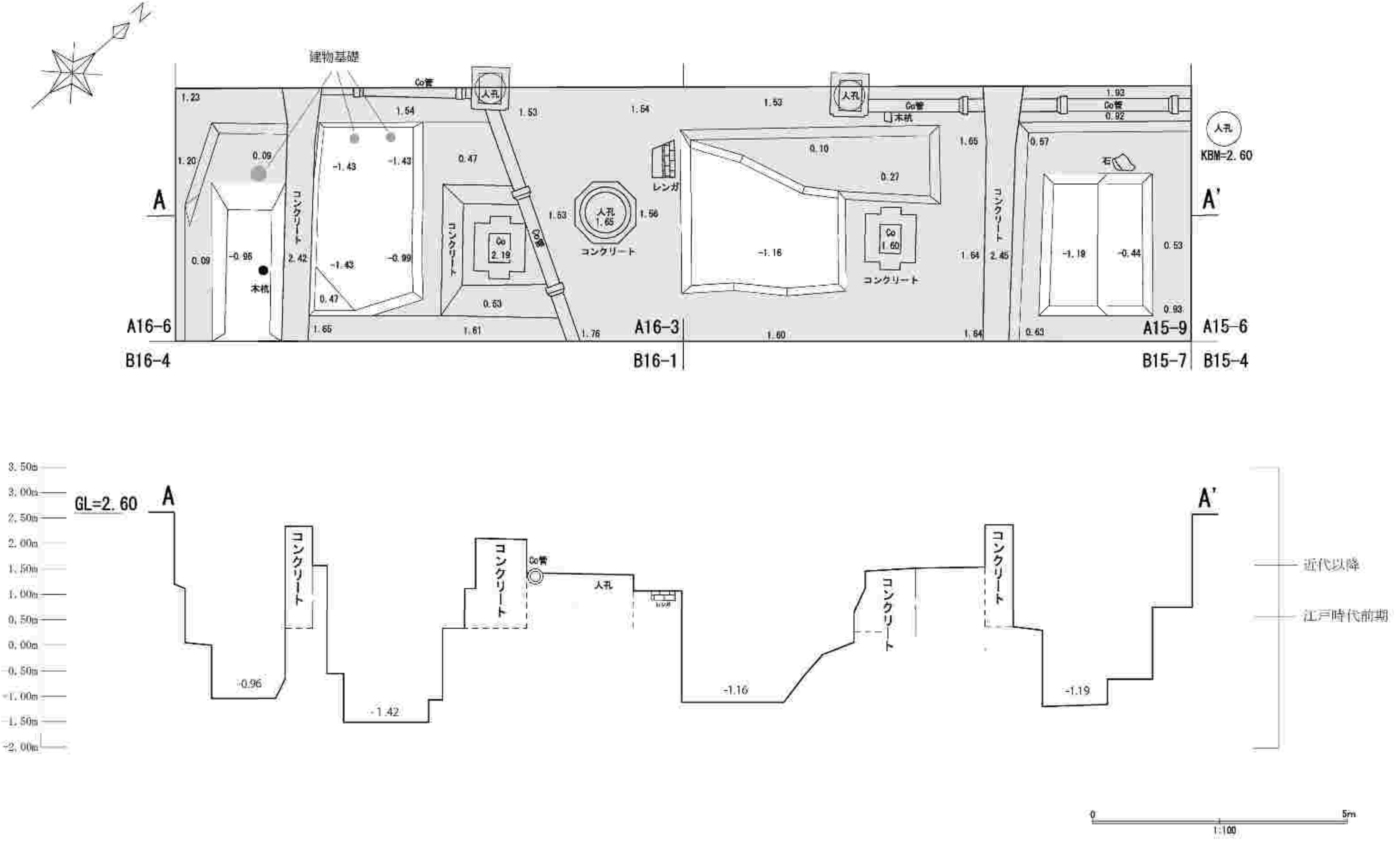
11図 試掘坑②遺構平面図　(GL-1.0m)



12図 試掘坑②遺構平面図 (GL−2.0m)

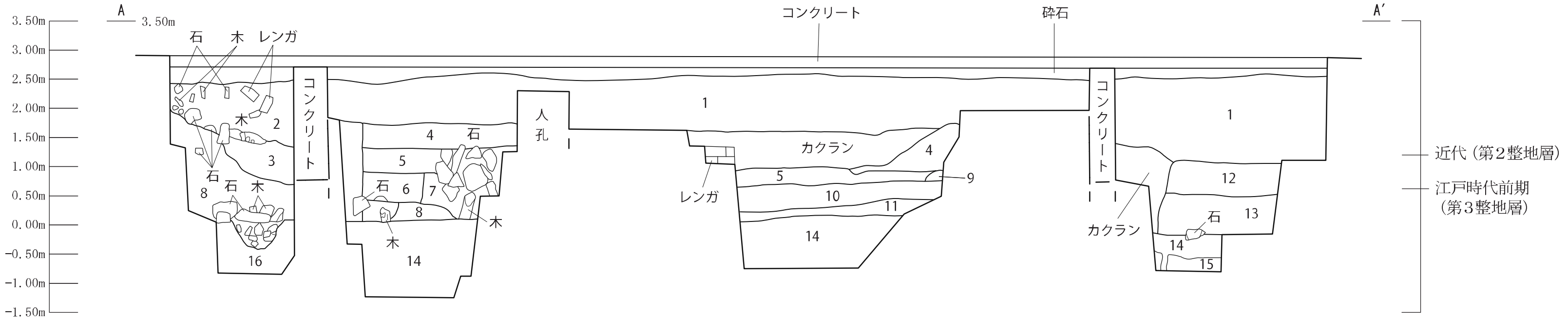


13図 試掘坑②遺構平面図　(GL-3.5m)

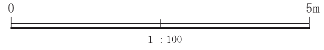


14図　試掘坑②土層

A-A′ライン土層



1．2.5Y5/2暗灰黄色　砂質土　径5～15cmの礫を少量含む。締りなし。
2．5Y5/4オリーブ色　砂質土　粘土粒子と径3cmの礫が少量混じる。粘性あり。
3．7.5Y4/2灰オリーブ色　シルト　粘性あり。
4．2.5Y6/4にぶい黄色　径5～20cmの礫・白色粘土を少量含む。
5．5Y3/2オリーブ黒色　径1～3mmの炭化物粒を少量含む。粘性あり。
6．5Y5/3灰オリーブ色　径1～3cmの礫を少量含む。粘性ややあり。
7．5Y5/4オリーブ色　径1～3mmの炭化物粒・3～5cmの礫を微量含む。粘性ややあり。
8．7.5Y4/2灰オリーブ色　シルト　粘性ややあり。
9．10Y4/2オリーブ灰色　径1～5cmの礫を微量含む。粘性なし。
10．5Y3/1オリーブ黒色　径3～5cmの礫を少量含む。
11．5Y7/3浅黄色　シルト　径1～3cmの礫を少量含む。粘性ややあり。
12．2.5Y6/4にぶい黄色　径5～20cmの礫を少量含む。
13．5Y3/1オリーブ黒色　径3～5cmの礫を少量含む。
14．5Y3/1オリーブ黒色　砂質土混じり　径3～5cmの礫を少量含む。
15．5Y4/3暗オリーブ色　砂質土　径3～5cmの礫を少量含む。
16．7.5Y3/2オリーブ黒色　砂質土混じり　遺物少量含む。粘性ややあり。



試掘坑③

調査面積　250 ㎡

検出遺構　計 11 基（石積遺構（建物基礎）3 基、杭跡 8 基）

出土遺物　点数 1,348 点、重量 129.871kｇ（磁器 640 点、陶器 416 点、炻器 93 点、土器 32 点、瓦 7 点、木製品 101 点、銭貨（寛永通宝）8 点、ガラス製品 1 点、自然遺物 2 点、近代遺物 8 点、レンガ 40 点）

調査所見　約 250 ㎡の調査区面積のうち 63 ㎡は、築地市場関連の建物基礎によって壊されていた。また、築地市場に関連した排水管も調査区を東西に貫いていたため、昭和時代の整地層と近代の整地層の境が不明瞭であった。

1 段目は TP=1.5m まで掘削し、コンクリートガラやレンガ片が混入した盛土を確認した。この盛土は試掘坑②･④でも確認されており、大規模な造成工事が行われたものと考えられる。土層はシルトと砂質土を主体とした褐色土である。

2 段目は TP=0.20m まで掘削し、近代の撹乱土を主とした盛土を確認した。遺物はコーラの瓶や空き缶等で、コンクリートガラやレンガ片と共に出土したため、整地時に混入したものと推測される。

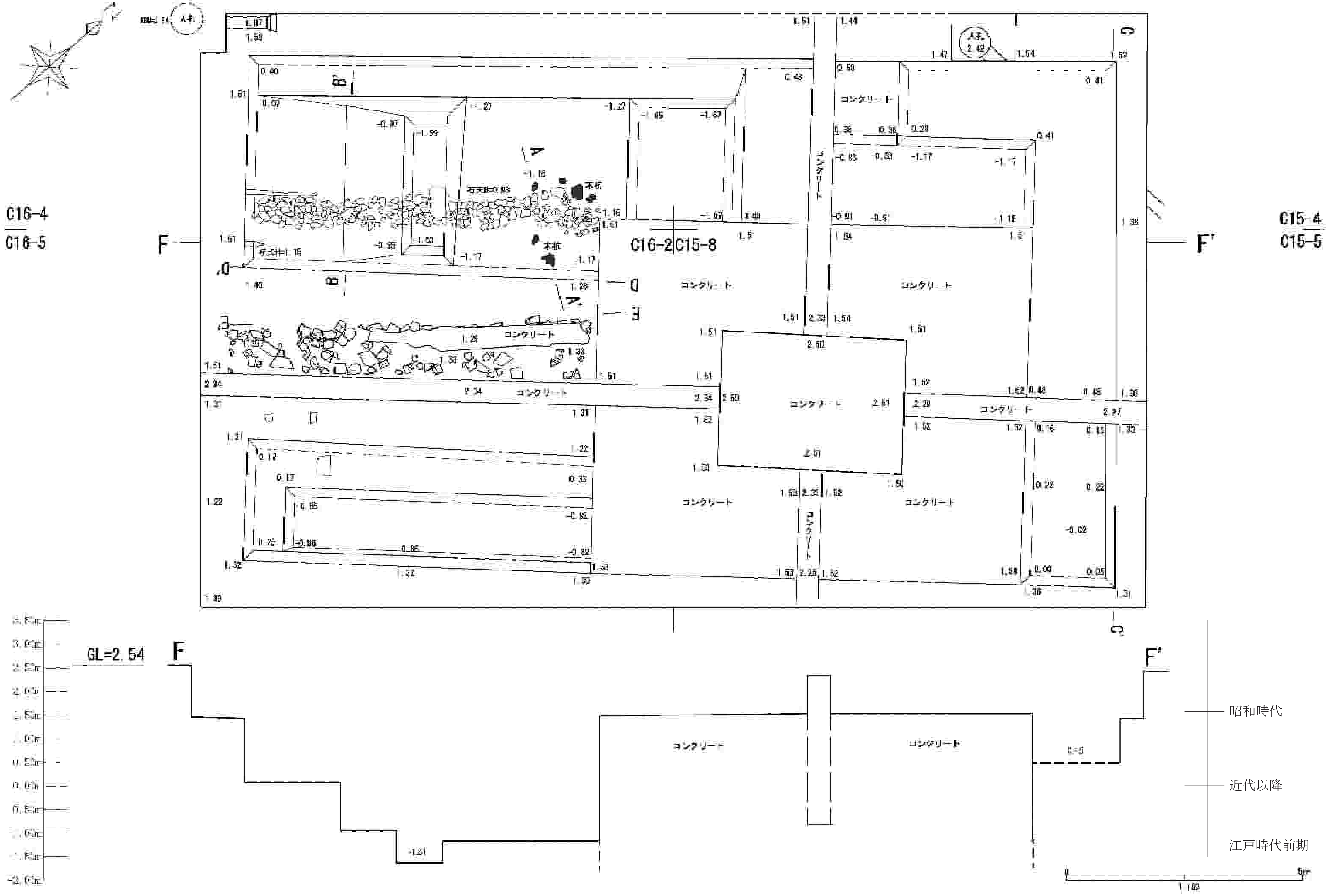
なお、2 段目の上面で建物基礎と考えられる石敷遺構 3 基と杭 8 基が確認された。これらの遺構は、南西方向から北東方向に溝状に位置する 2 基と、これら 2 基と直交するように位置する 1 基である。層位は TP=1.0～1.3m の間にあり、加工していない 10～30cm ほどの自然石を敷き詰めている。南西方向から北東方向に位置する石積遺構は上段がコンクリート板で覆われていた。3 基の関連性は不明であるが、当調査区西側には海軍省時代に東京湾に繋がる大きな池状の入江が造られており、今回確認された石積遺構と杭跡は、その入江の縁部に位置するため、桟橋等の施設が構築されていたと考えられる。

3 段目は TP=0.17m まで掘削したが、近代の整地層の下は大きな攪乱もなく、近世の造成の跡を確認することができた。

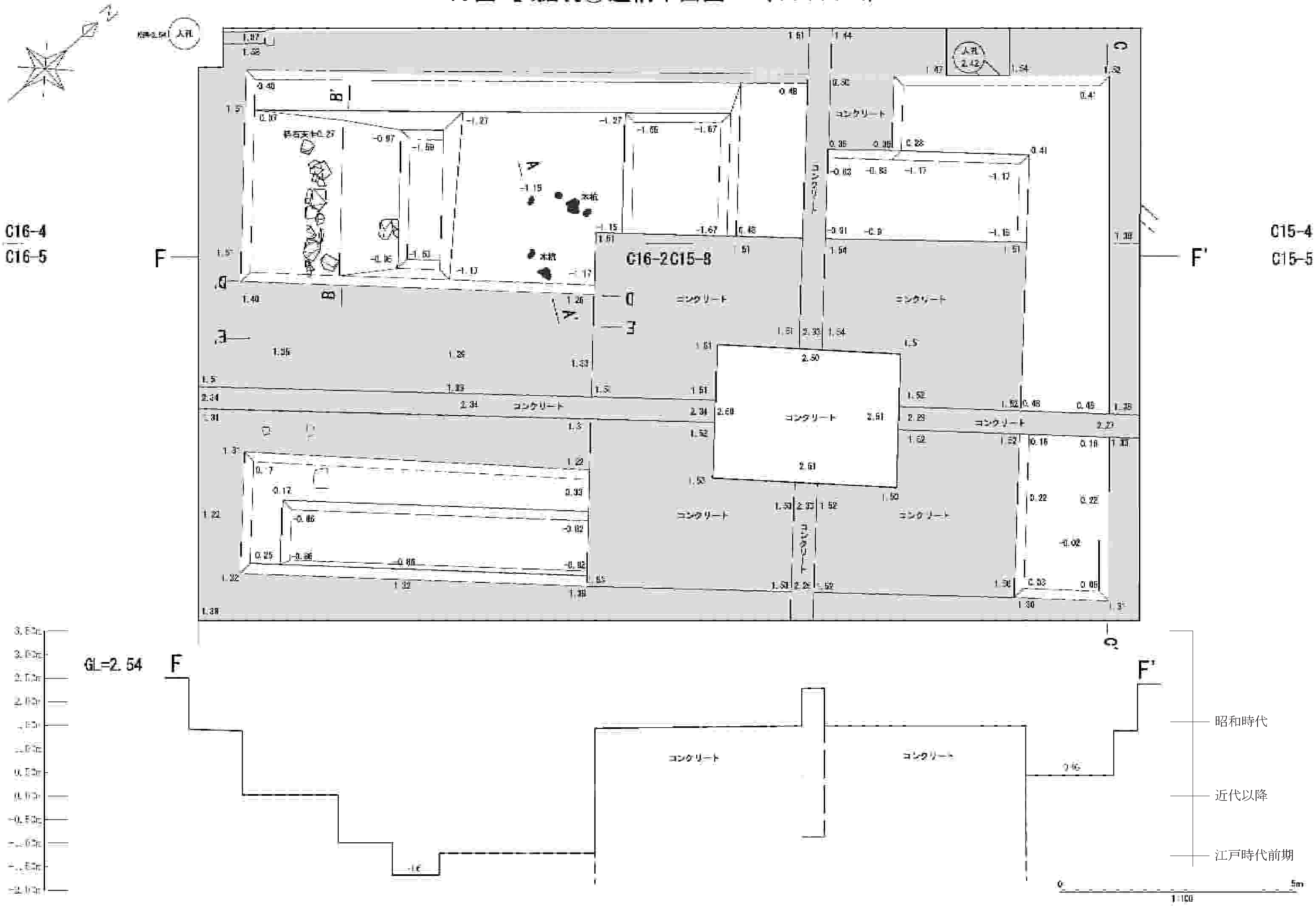
これら近世の造成層中には、多量の木片とともに陶・磁器片が埋め立て造成時に遺棄されている状態を確認することができた。特にこの近世の整地層は、試掘坑②～④でも同様に確認されており、大規模な造成が行われたと考えらえる。また、この整地層は 2 層確認されたが、遺物の時期はいずれもほぼ同時期と考えられ、17 世紀後葉から 18 世紀前葉に比定される。

この整地層からは、陶胎染付の碗や志戸呂の灯明皿、丸文チラシの碗、瀬戸・美濃の摺り絵碗や、瀬戸・美濃系徳利等が出土している。

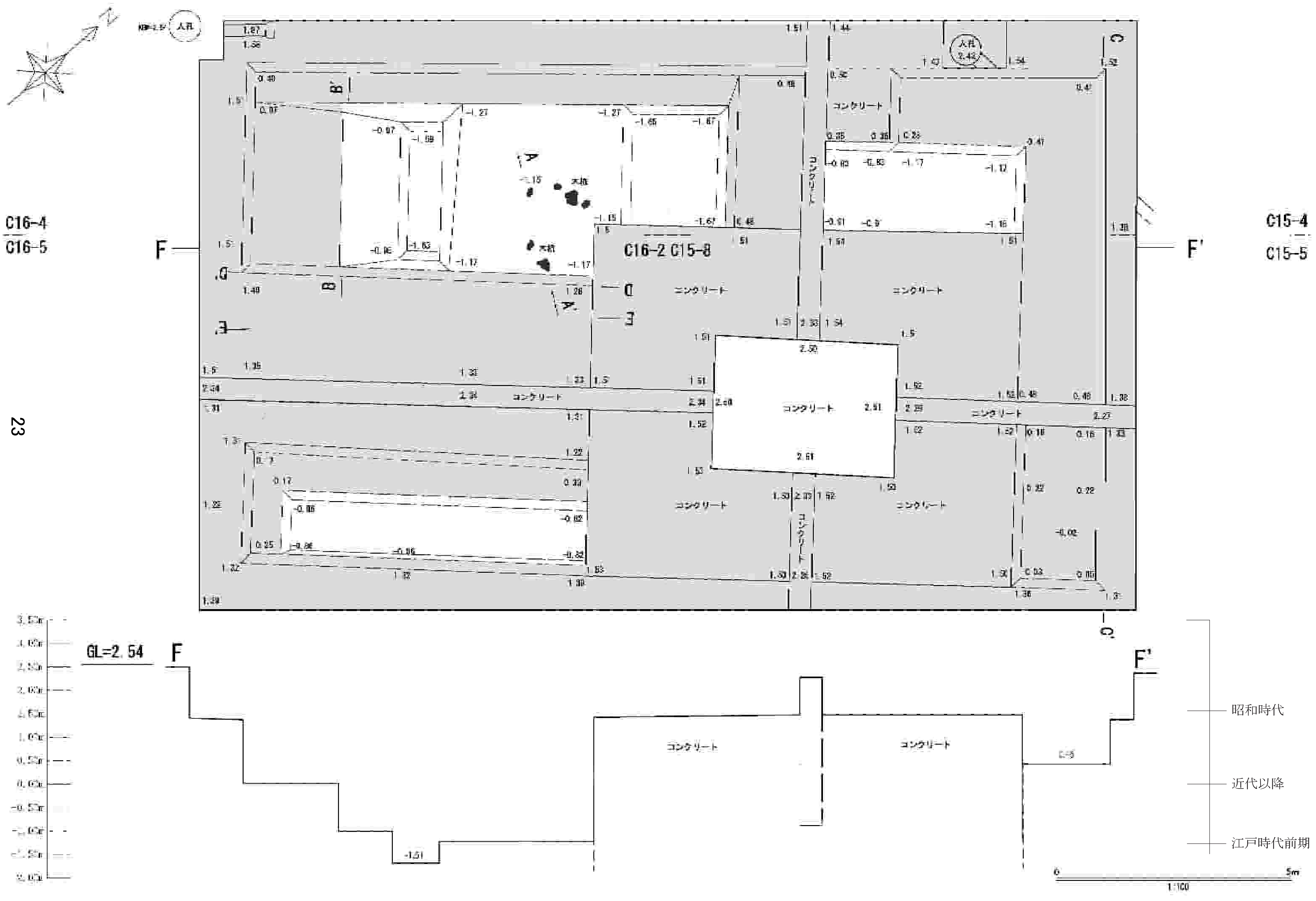
15図 試掘坑③ 遺構平面図 (GL-1.0m)



16図 試掘坑③遺構平面図　(GL-2.0m)

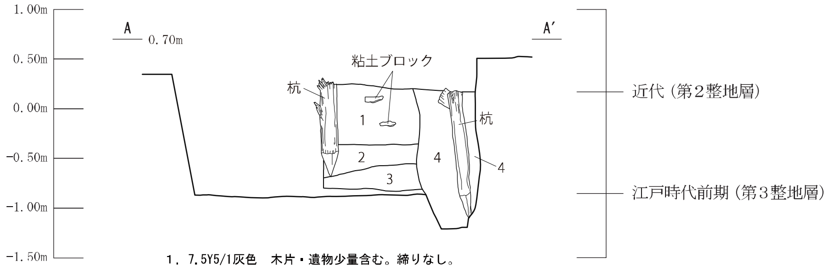


17図　試掘坑③遺構平面図　（GL-3.5m）



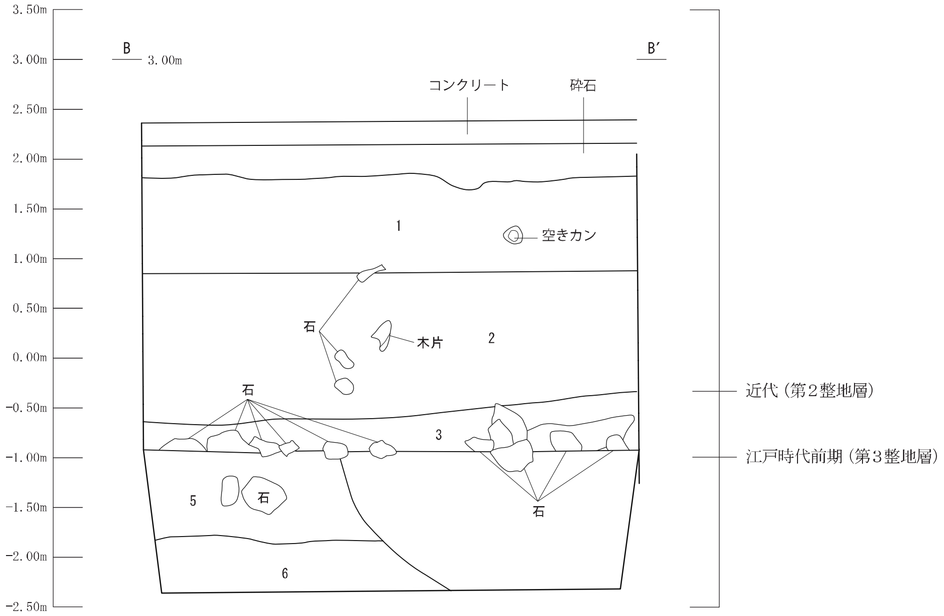
18図　試掘坑③土層-1

A-A′ライン土層

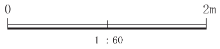


1．7.5Y5/1灰色　木片・遺物少量含む。締りなし。
2．7.5Y4/2灰オリーブ色　木片・遺物多量含む。締りなし。
3．7.5Y5/1灰色　木片・遺物少量含む。締りなし。
4．7.5Y5/1灰色　3～5cm少量含む。締りなし。

B-B′ライン土層

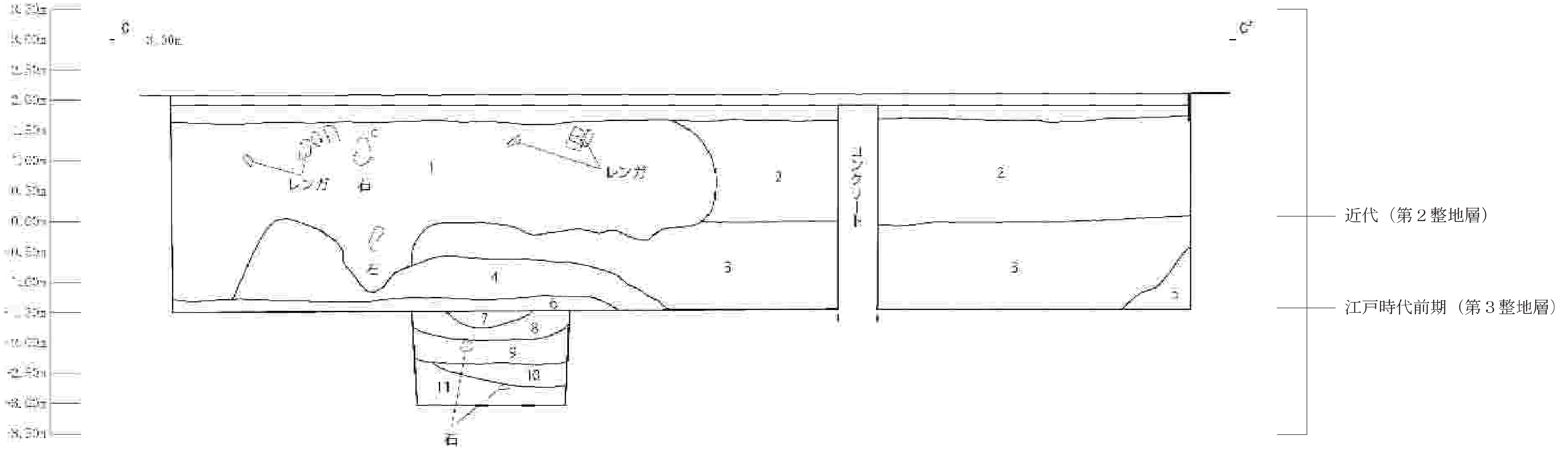


1．2.5Y5/2暗灰黄色　砂質土　径5～20cmの礫を少量含む。締りなし。
2．5GY6/1オリーブ灰色　シルト　粘土粒子と径3cmの礫が少量混じる。粘性あり。
3．7.5Y5/1灰色　木片・遺物少量含む。締りなし。
4．2.5Y6/4にぶい黄色　径5～20cmの礫・白色粘土を少量含む。
5．7.5Y5/1灰色　径3～5cmの礫少量含む。締りなし。
6．7.5Y4/2灰オリーブ色　シルト　木片・遺物少量含む。粘性あり。



19図　試掘坑③土層-2

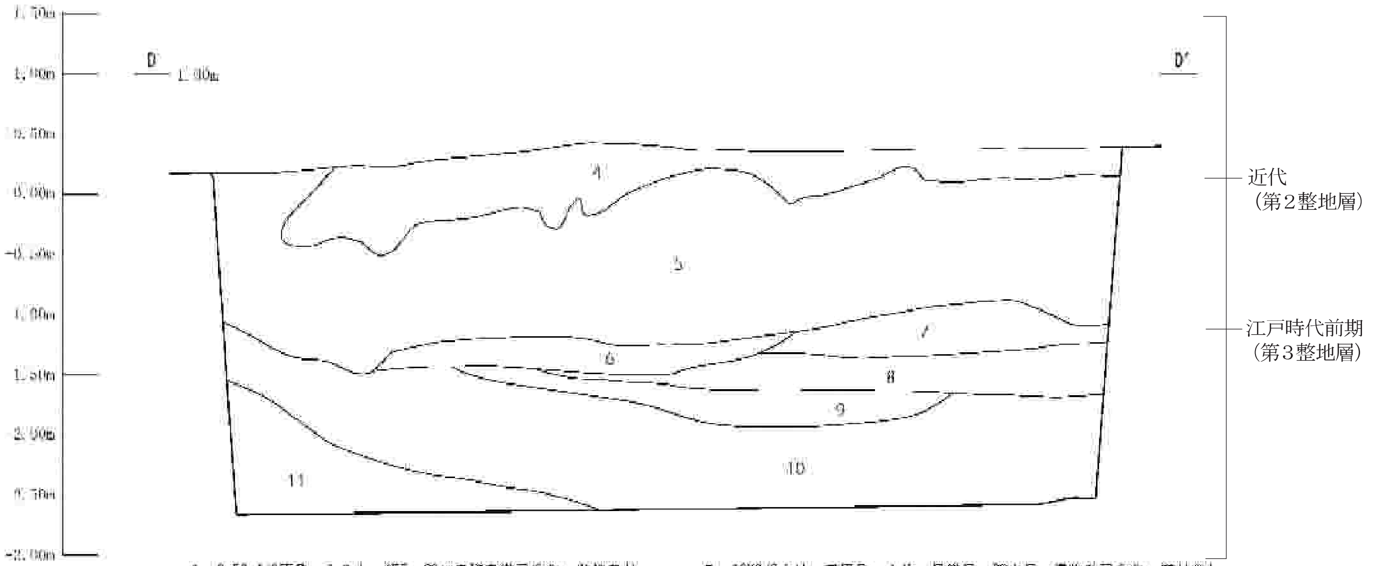
C-C'ライン土層



1. 5Y5/2灰オリーブ色　砂質土　径5～20cmの礫・レンガ片を多量含む。締りなし。
2. 5/2灰オリーブ色　砂質土　径5～20cmの礫・レンガ片を少量含む。締りなし。
3. 4/2灰色　シルト　径5～20cmの礫を微量含む。粘性あり。
4. 2.5Y3/4にぶい黄色　径5～20cmの礫を少量含む。
5. 5Y4/3暗オリーブ色　砂質土　径3～5cmの礫を少量含む。
6. 5GY5/1オリーブ灰色　砂質土　貝片を少量含む。　粘性なし。
7. 5Y3/1オリーブ黒色　径3～5cmの礫を少量含む。
8. 4/2灰色　シルト　径5～20cmの礫を微量含む。粘性あり。
9. 7.5Y4/2灰オリーブ色　シルト　粘性やや有り。
10. 7.5Y3/2オリーブ黒色　砂質土混じり　遺物少量含む。粘性ややあり。
11. 7.5Y5/1灰色　木片・遺物少量含む。締りなし。

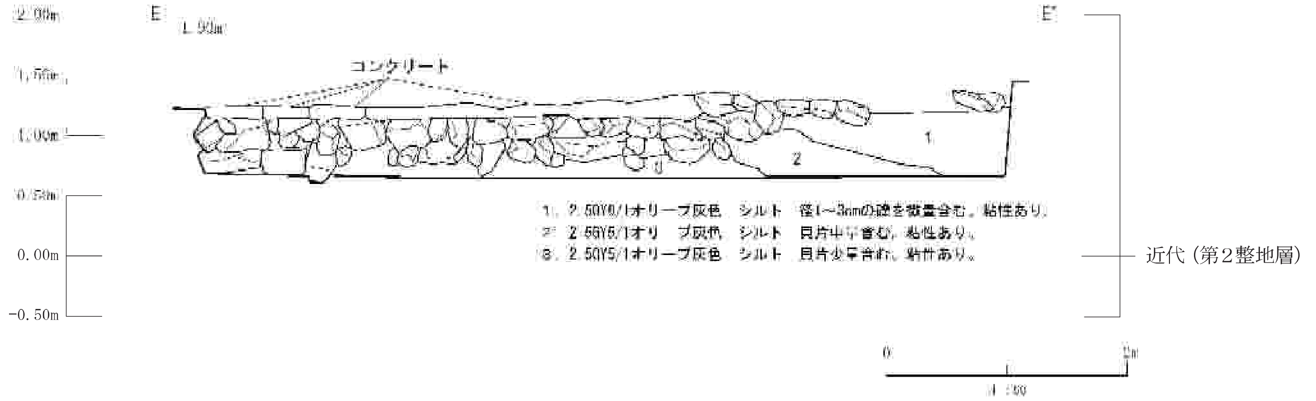
20図　試掘坑③土層-3

D-D'ライン土層



4．2.5GY4/2灰色　シルト　径5～20cmの礫を微量含む。粘性あり。
5．2.5GY6/1灰色　シルト　粘性あり。
6．10Y3/1オリーブ黒色　木片・遺物多量含む。締りなし。
7．10Y3/2オリーブ黒色　木片・遺物多量含む。礫微量含む。締りなし。
8．10Y3/2オリーブ黒色　木片・貝微量・礫少量・遺物多量含む。締りなし。
9．7.5Y3/1オリーブ黒色　木片・礫少量・遺物多量含む。締りなし。
10．7.5Y4/2灰オリーブ色　木片・遺物少量含む。締りなし。
11．10Y3/1オリーブ黒色　木片・礫・遺物少量含む。締りややなし。

E-E'ライン土層



1．2.5GY6/1オリーブ灰色　シルト　径1～3mmの礫を微量含む。粘性あり。
2．2.5GY5/1オリーブ灰色　シルト　貝片中量含む。粘性あり。
3．2.5GY5/1オリーブ灰色　シルト　貝片少量含む。粘性あり。

試掘坑④

調査面積　150 ㎡

検出遺構　計 11 基（レンガ基部 1 基、杭跡 11 基）

出土遺物　点数 470、重量 38.803kg（磁器 203 点、陶器 172 点、炻器 56 点、土器 8 点、瓦 12 点、木製品 9 点、レンガ 10 点）

調査所見　１段目は TP=1.98m まで掘削し、調査区北東部でレンガ造りの枡の基部最上部と金属管をそれぞれ確認した。土層はすべて旧市場のコンクリート敷設の際の客土で、遺構に伴う土砂ではなかった。

２段目は TP=1.68m まで掘削し、金属管を確認した。また、第１面は近・現代の撹乱層で、土層はシルトと砂質土を主体とした褐色土であった。１段目で確認されたレンガ造りの枡の下部が TP=1.50m で掘り上がった。しかし調査の結果、ほかの施設や管等の設備は確認されず、遺棄されたと判断した。

３段目は TP=0.98mまで掘削したが、調査区内には埋設管が多数存在し、近代の整地面を明確に把握することはできなかった。

なお、当層位では、大量のレンガとともに礫混じりの土砂が西側へ傾斜している層が調査区南西部で確認された。また、海軍省時代の大池が当調査区の南西部に拡がっていることや埋土に大量のレンガが確認されていることから見ても、この大池を埋めたものと推測される。これら大量のレンガを遺棄した層の直下では、すでに抜かれていたものと併せ９本の木杭が確認された。これらの木杭は乱立するように不規則に打ち込まれており、また、建物の柱を二次転用した柱も多く見受けられた。これらの杭の多くは、規模は異なるものの、杭頭は TP=0m から－0.20m の高低差でほぼ揃っており、また、この地点が海に面していることから見ても、桟橋等、何らかの構造物の基礎杭の可能性が示唆される。

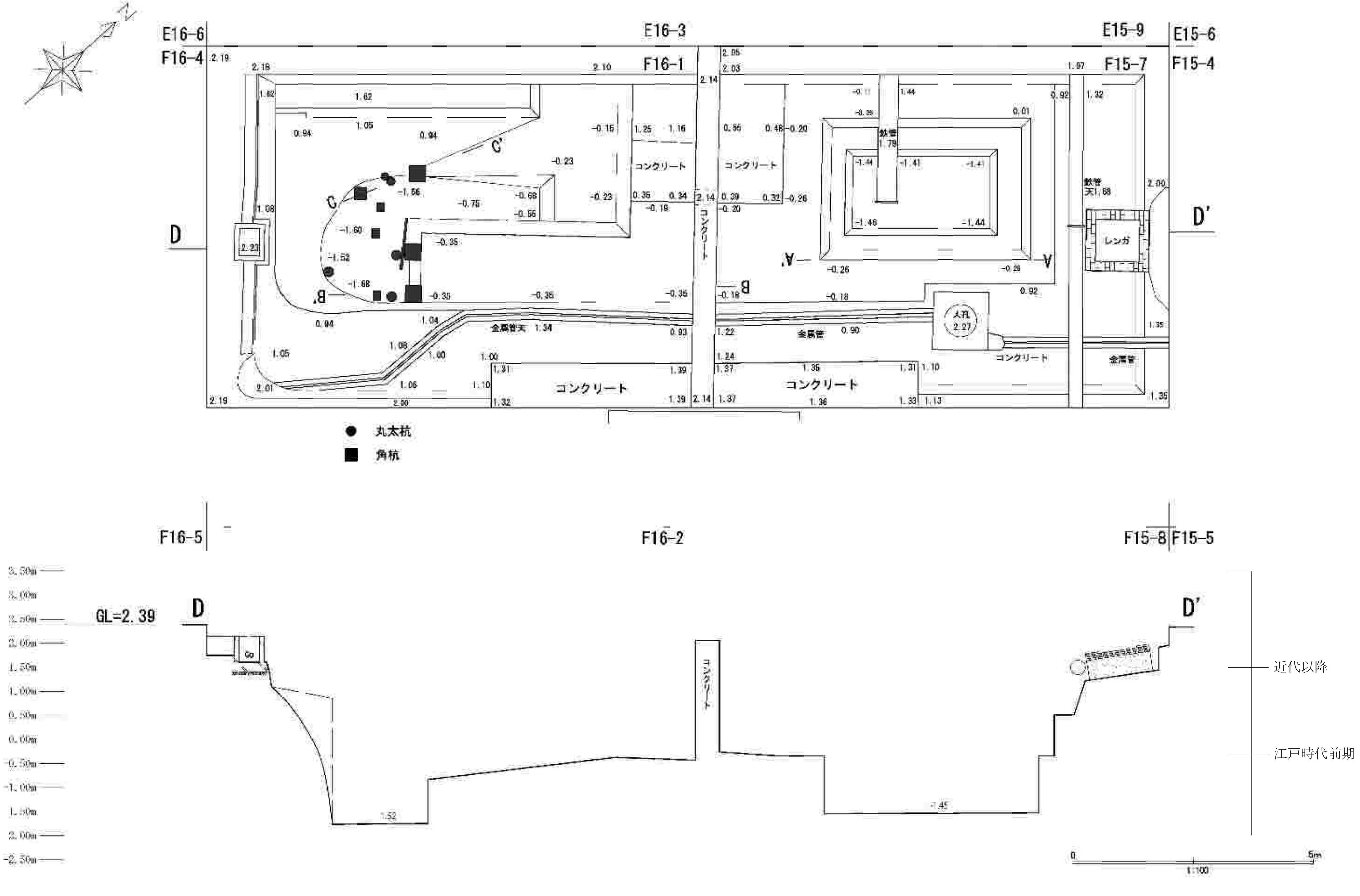
４段目は TP=0.26m まで掘削し、近世に比定される第３整地層の上面を確認した。そこから自然面までは 1.20m ほどの深さがあり、多量の木片と陶・磁器類が確認された。この層は、層中に遺物が充填されているかのように重なり合った層で、試掘坑②・③と同時期に大規模な宅地造成工事が行われたものと推測される。

この第３整地層から出土した遺物の大半は木片であったが、家屋を壊した際に発生した廃材とみられ、板材や角材が出土している。しかし、これらの木片には焼成痕は認められず、火災によるものではない。そのほかにも多数の木製品が出土している。

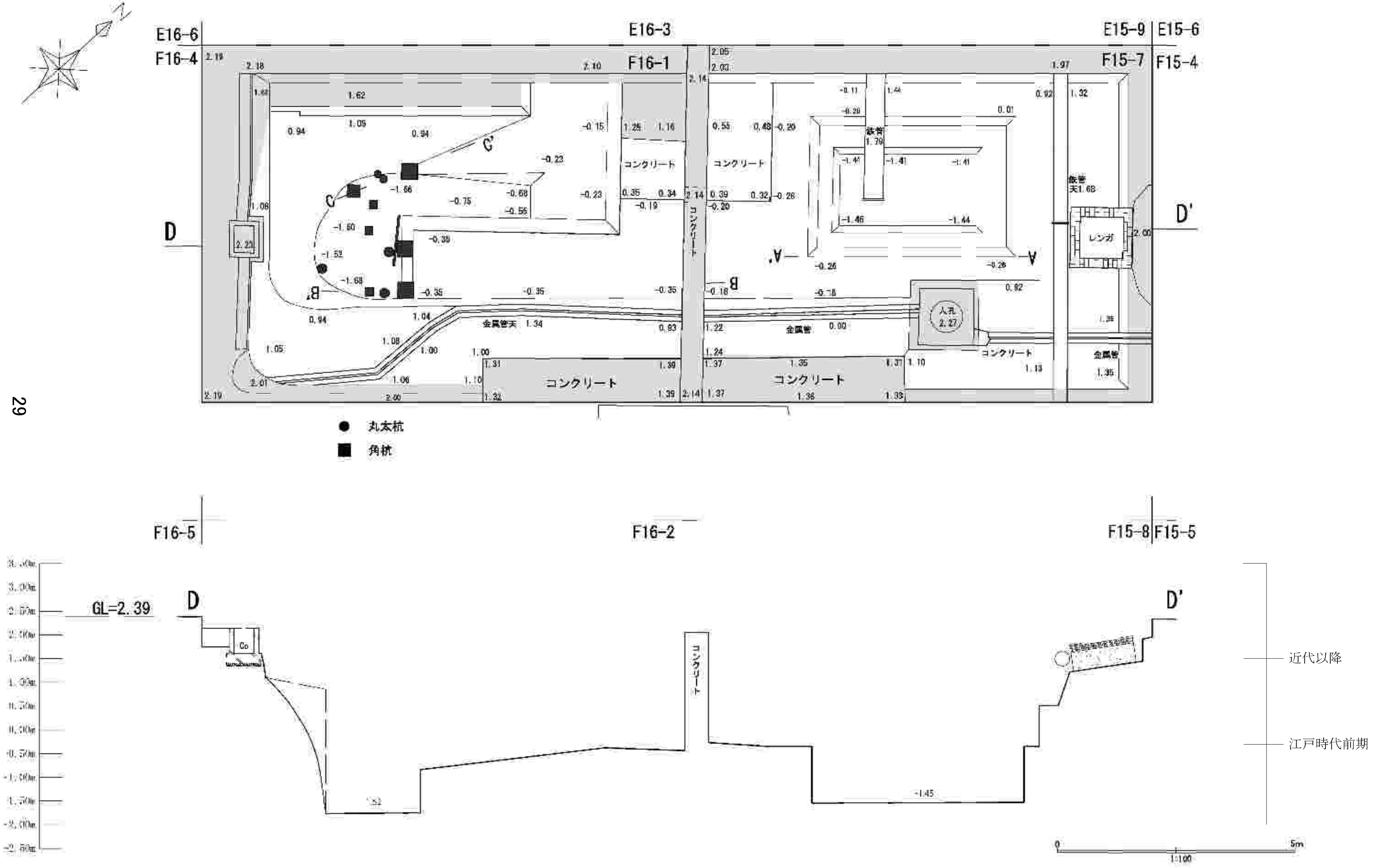
次に多く出土した遺物は陶器や磁器であるが、磁器は肥前系のもので、波佐見製品が散見された。陶器は瀬戸・美濃系が主流であるものの、唐津の大皿や大鉢、丹波の擂鉢も目立つ。しかし、京焼は少なく、今回調査を行った試掘坑全体を通しても３点のみのである。

なお、これら江戸時代前期の土層の上面から、肥前系陶器の現川焼１点が出土している。

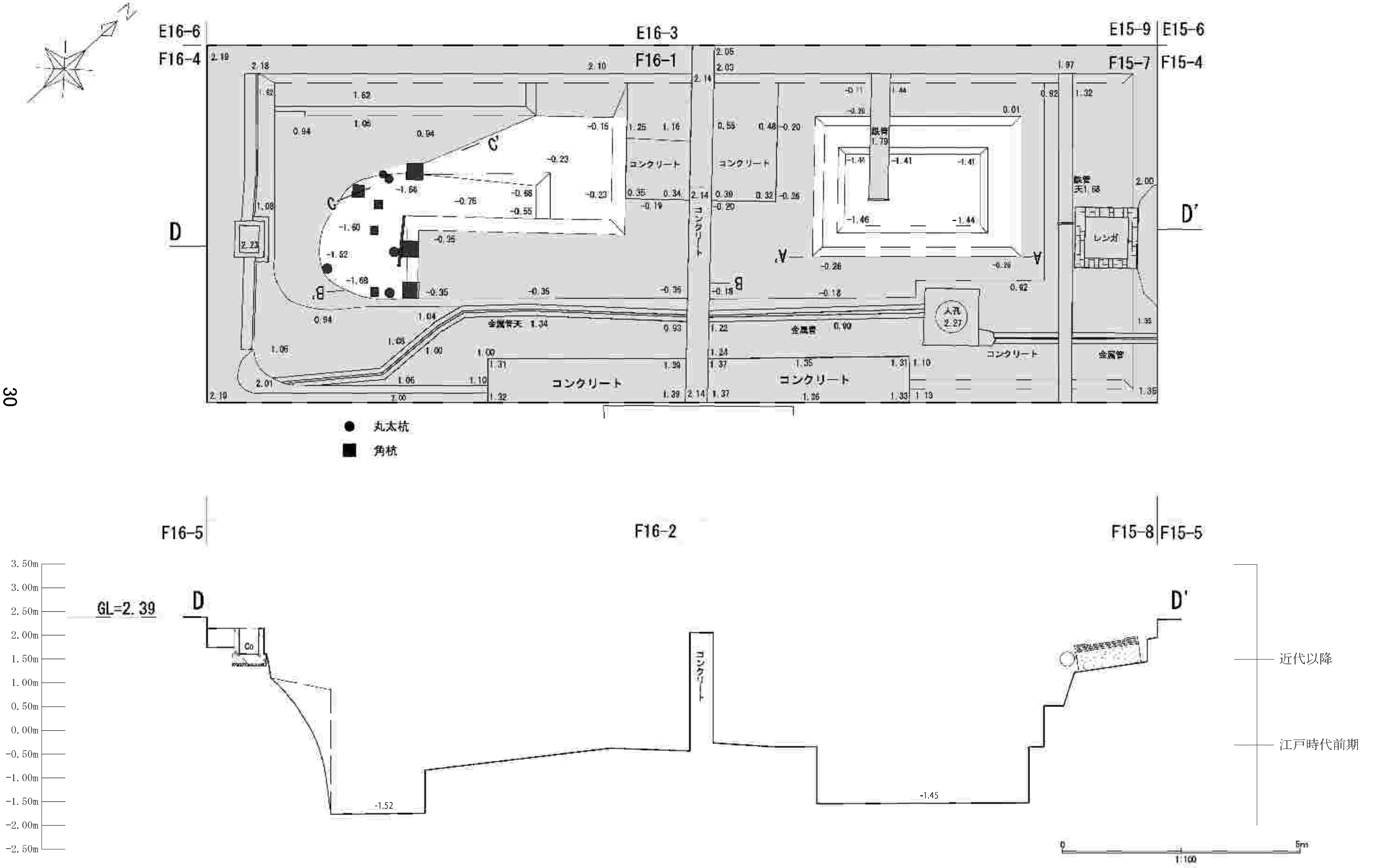
21図 試掘坑④遺構平面図 (GL-0.4m)



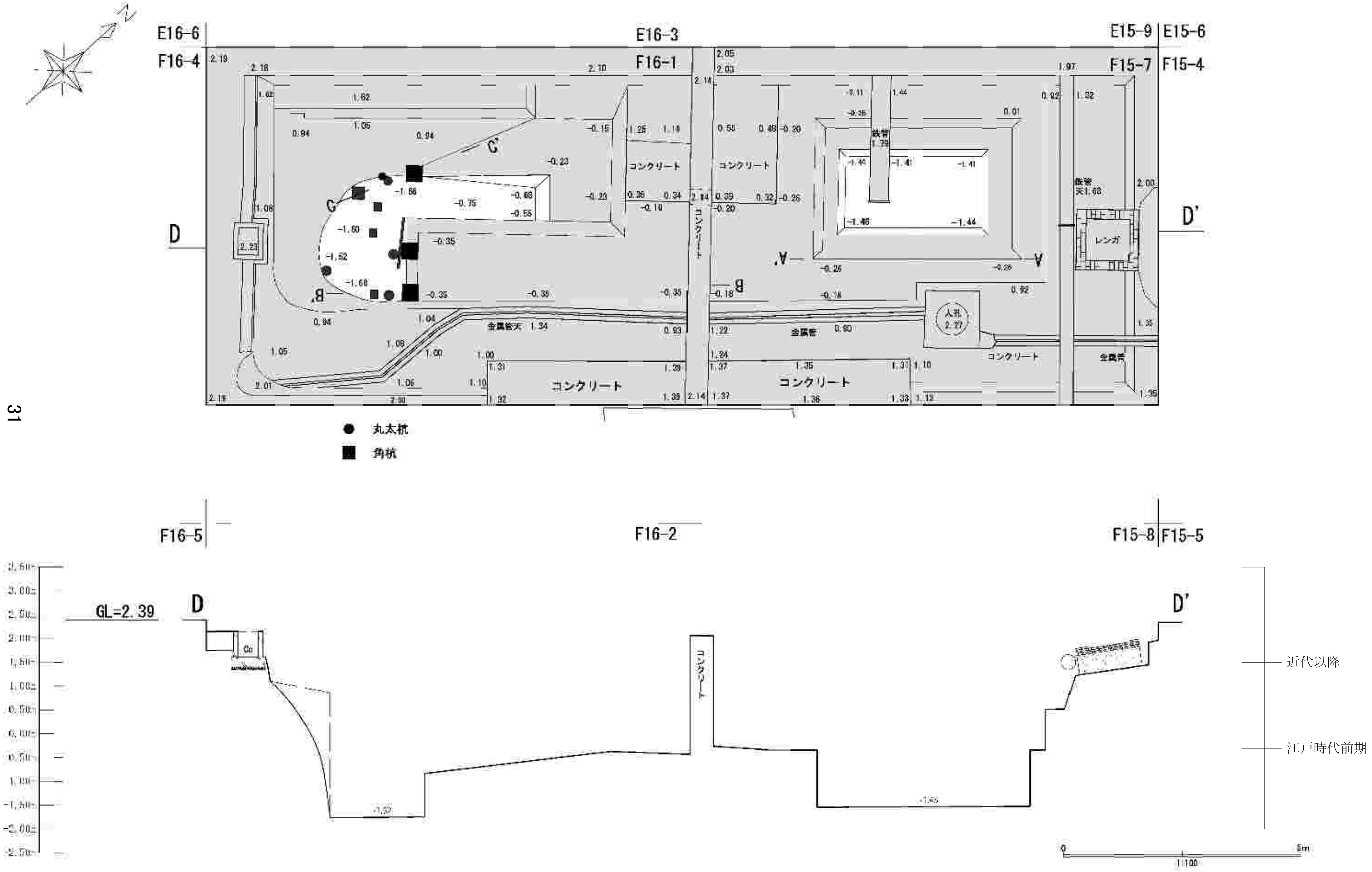
22図 試掘坑④遺構平面図 (GL-1.3m)



23図 試掘坑④遺構平面図 (GL-2.5m)

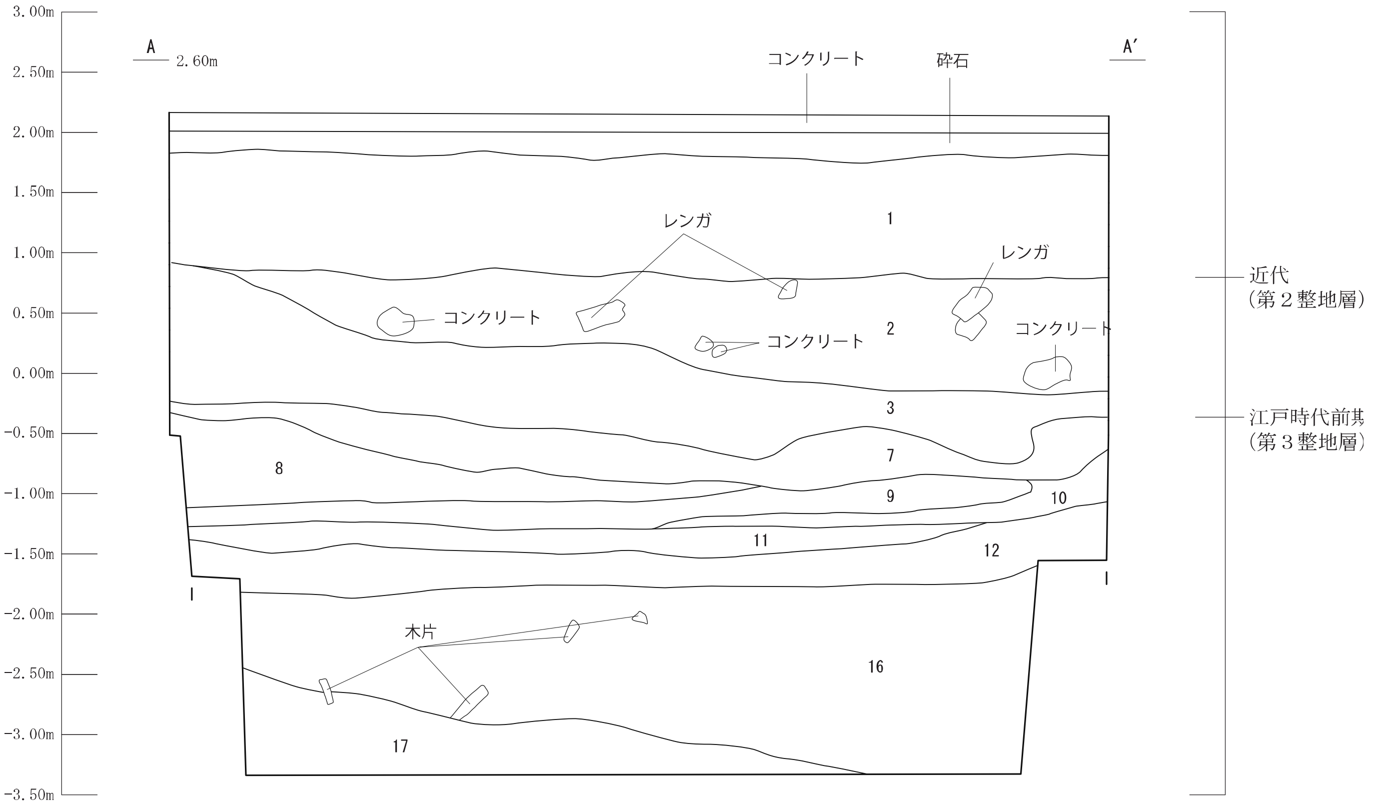


24図 試掘坑④遺構平面図　（GL-3.7m）



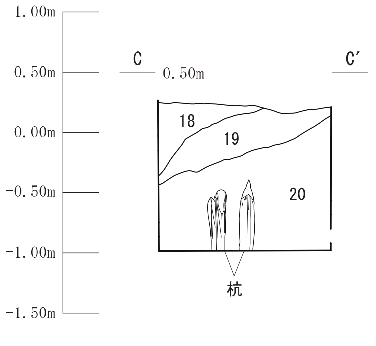
25図　試掘坑④土層-1

A-A′ライン土層

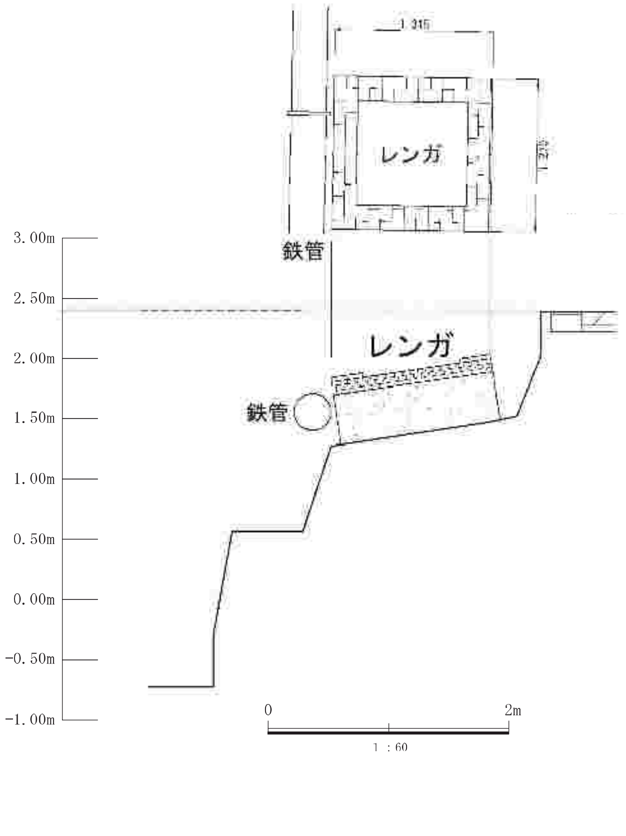


1．2.5Y5/2暗灰黄色　砂質土　径5～15cmの礫を中量含む。締りなし。
2．5Y5/4オリーブ色　砂質土　粘土粒子と径3cmの礫が中量混じる。粘性あり。
3．5Y5/1灰色　シルト　粘性あり。
4．5Y5/1灰色　シルト　粘性あり。
5．10Y3/2オリーブ黒色　木片・遺物多量含む。礫微量含む。締りなし。
6．10Y3/2オリーブ黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫少量含む。締りなし。
13. 10Y3/2オリーブ黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。
14. 7.5Y2/1黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。
15. 7.5Y2/1黒色　木片・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。

C-C′ライン土層

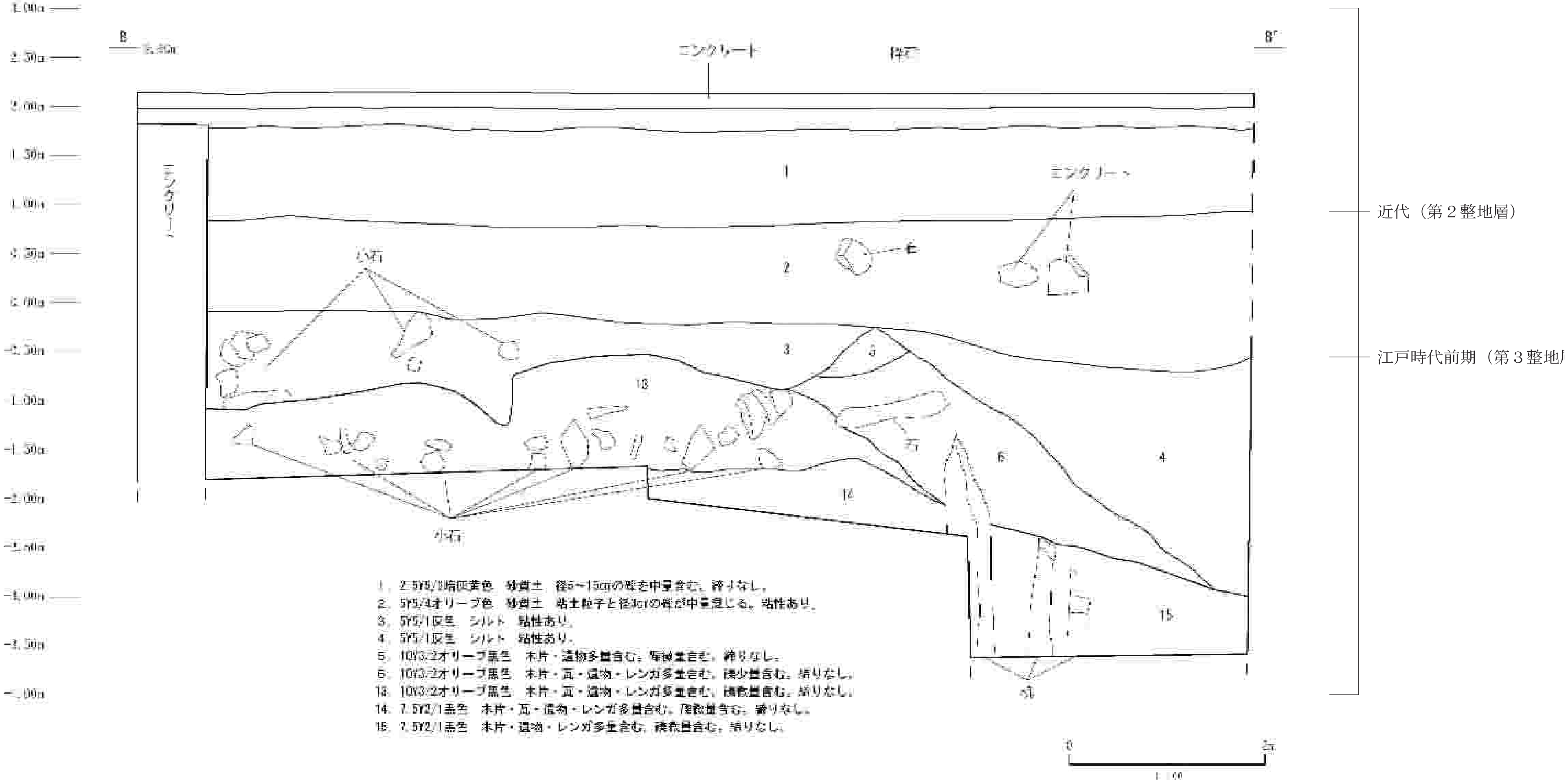


18. 7.5Y2/1黒色　木片・遺物・レンガ少量含む。締りなし。
19. 5Y5/1灰色　シルト　粘性あり。
20. 7.5Y2/1黒色　木片・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。



26図　試掘坑④土層-2

B-B'ライン土層



1.　2.5Y5/3暗灰黄色　砂質土　径5～15cmの礫を中量含む。締りなし。
2.　5Y5/4オリーブ色　砂質土　粘土粒子と径3cmの礫が中量混じる。粘性あり。
3.　5Y5/1灰色　シルト　粘性あり。
4.　5Y5/1灰色　シルト　粘性あり。
5.　10Y3/2オリーブ黒色　木片・遺物多量含む。礫微量含む。締りなし。
6.　10Y3/2オリーブ黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫少量含む。締りなし。
13.　10Y3/2オリーブ黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。
14.　7.5Y2/1黒色　木片・瓦・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。
15.　7.5Y2/1黒色　木片・遺物・レンガ多量含む。礫微量含む。締りなし。

表１　出土遺物集計表(1)

			磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土製品	金属製品	木製品	骨角製品	ガラス	石製品	自然遺物	土類	江戸以前	近代遺物	銭貨	レンガ	合計
試掘坑①	船入場(海底)	点数	221	291	98	14						4					6		4,000	4,634
		重量	4,450	8,277	3,648	340						39					43		8,000,000	8,016,797
	護岸(南北)	点数	22	7	1	5								16						51
		重量	311	59	71	35								358						834
	Ｏ５ 第１整地層	点数	48	29	15	3	2					2					2			101
		重量	1,135	1,110	598	30	52					51					32			3,008
	第２整地層	点数	86	58	8	4	5							1					300	462
		重量	1,259	1,282	361	49	500							13					600,000	603,464
	第３整地層	点数	43	28			25			11										107
		重量	1,083	1,278			692			599										3,652
	Ｐ５ 第１整地層	点数	15	15	8	1	3										3			45
		重量	399	1,724	212	12	150										155			2,652
	第２整地層	点数	44	48	2	1	8													103
		重量	1,316	1,010	16	2	802													3,146
	第３整地層	点数	26	21			39													86
		重量	1,046	1,198			1,582													3,826
	Ｐ６ 第１整地層	点数	10	5	6	1											2			24
		重量	165	201	68	16											75			525
	第２整地層	点数	38	16	5															59
		重量	619	360	518															1,497
	第３整地層	点数	2	4																6
		重量	96	479																575
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
		点数																		0
		重量																		0
	合計	点数	555	522	143	29	82	0	0	11	0	6	0	17	0	0	13	0	4,300	5,678
		重量	11,879	16,978	5,492	484	3,778	0	0	599	0	90	0	371	0	0	305	0	8,600,000	8,639,976

表2　出土遺物集計表 (2)

			磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土製品	金属製品	木製品	骨角製品	ガラス	石製品	自然遺物	土類	江戸以前	近代遺物	銭貨	レンガ	合計
試掘坑②	A区	点数	4	4	16		4					1								29
	第1・2整地層	重量	109	181	1,001		401					20								1,712
		点数	205	81	17	14				36								4		357
	第3整地層	重量	3,472	2,355	1,580	325				4,586								10		12,328
	B区	点数	5	7	8	2	2										1			25
	第1整地層	重量	493	238	712	52	240										46			1,781
		点数	31	12	3	2	2													50
	第2整地層	重量	832	555	92	39	87													1,605
		点数	222	49	13	2	4			7								4	32	333
	第3整地層	重量	3,932	1,872	1,647	18	400			1,147								8	64,000	73,024
	C区	点数	96	40	18	9														163
	第1・2整地層	重量	2,128	3,041	1,675	430														7,274
		点数	36	88	16	8				17										165
	第3整地層	重量	768	2,837	1,581	47				3,631										8,864
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
																				0
	合計	点数	599	281	91	37	12	0	0	60	0	1	0	0	0	0	1	8	32	1,122
		重量	11,734	11,079	8,288	911	1,128	0	0	9,364	0	20	0	0	0	0	46	18	64,000	106,588

表3　出土遺物集計表(3)

			磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土製品	金属製品	木製品	骨角製品	ガラス	石製品	自然遺物	土類	江戸以前	近代遺物	銭貨	レンガ	合計
試掘坑③	A区 建物基礎遺構	点数	7	5																12
		重量	116	133																249
	第１整地層	点数		29	17												2			48
		重量		1,274	776												29			2,079
	第２整地層	点数	100	46	10	4													20	180
		重量	116	603	385	109													40,000	41,213
	第３整地層	点数	250	120	17	8	1	1	2	71	2	1	2					2		477
		重量	7,479	7,932	2,871	694	288	170	6	8,619	58	8	542					4		28,671
	B区 第１整地層	点数	20	16	5	7	1													49
		重量	701	352	596	76	128													1,853
	第２整地層	点数	22	40	10	5	1						1						15	94
		重量	268	1,704	270	22	45						129						30,000	32,438
	第３整地層	点数	95	65	6	3				23										192
		重量	25	3,796	627	27				2,230										6,705
	C区 第１整地層	点数	3	3	6												1			13
		重量	96	514	234												35			879
	第２整地層	点数	28	25	2	5											1		5	66
		重量	947	835	46	181											342		10,000	12,351
	第３整地層	点数	105	55	8	4				7										179
		重量	946	439	551	15				328										2,279
	D区 第１整地層	点数	10	12	5	1	4										2			34
		重量	152	259	267	8	456										62			1,204
	第２整地層	点数	12	4	1							1							6	24
		重量	392	457	11							3							12,000	12,863
	第３整地層	点数	200	123	22	44				10										399
		重量	1,934	4,133	1,127	719				693										8,606
	第３整地層(上層)	点数	5	1		1														7
		重量	103	20		5														128
																				0
																				0
	合計	点数	857	544	109	82	7	1	2	111	2	2	3	0	0	0	6	2	46	1,774
		重量	13,275	22,451	7,761	1,856	917	170	6	11,870	58	11	671	0	0	0	468	4	92,000	151,518

表4　出土遺物集計表(4)

			磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土製品	金属製品	木製品	骨角製品	ガラス	石製品	自然遺物	土類	江戸以前	近代遺物	銭貨	レンガ	合計
試掘坑④	A区	点数	12	7	5															24
	第１整地層	重量	488	255	445															1,188
		点数	20	51	22															93
	第２整地層	重量	507	1,559	741															2,807
		点数	75	78	12	5	8			4									10	192
	第３整地層	重量	2,178	3,861	725	71	520			379									20,000	27,734
	B区	点数	39	16	11															66
	第１・2整地層	重量	608	355	1,982															2,945
		点数	57	20	6	3	4			5										95
	第３整地層	重量	1,628	776	725	19	280			701										4,129
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
		点数																		0
		重量																		0
	合計	点数	203	172	56	8	12	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	10	470
		重量	5,409	6,806	4,618	90	800	0	0	1,080	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	38,803

	磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土製品	金属製品	木製品	骨角製品	ガラス	石製品	自然遺物	土類	江戸以前	近代遺物	銭貨	レンガ	合計
出土総点数	2,214	1,519	399	156	113	1	2	191	2	9	3	17	0	0	20	10	4,388	9,044
出土総重量	42,297	57,314	26,159	3,341	6,623	170	6	22,913	58	121	671	371	0	0	819	22	8,776,000	8,936,885

試掘坑①

遺構完掘状況（南西方向から）

石積遺構検出状況１（北西方向から）

レンガ堆積状況（南方向から）
⇒石積遺構検出状況（レンガの下面からの検出）

石積遺構検出状況２（南東方向から）

石積遺構検出状況３（南西方向から）

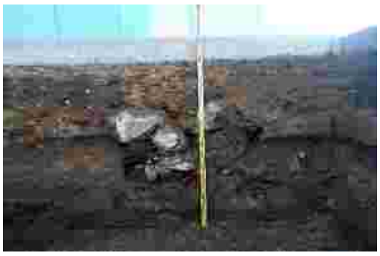
土丹構築状況（北西方向から）

土丹構築状況（北方向から）

土丹構築状況（西側部分）

試掘坑②

遺構完掘状況（北東方向から）



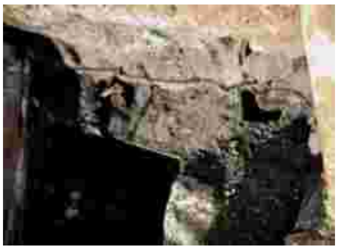
北東壁土層断面(南西方向から)

近世整地層堆積状況(南東方向から)

北西壁土層断面(南東方向から)

近世整地面検出状況(東方向から)

遺構完掘状況(北東方向から)



建物基礎部（P1～P3）検出状況１～３（南東方向から）

試掘坑③

遺構完掘状況（北東方向から）

南東壁土層断面(東方向から)

２号建物基礎遺構断面(北西方向から)

南東壁２土層断面(東方向から)

3号建物基礎遺構断面(北東方向から)

遺構検出状況(南西方向から)

近代整地面検出状況(北東方向から)

１・２号建物基礎遺構断面（北西方向から）

木杭・近世堆積層検出状況（西方向から）

試掘坑④

遺構完掘状況（北東方向から）

近世～近代整地層土層・近代整地面検出状況１・近代整地面検出状況２(北西方向から)

近世整地面検出状況
（北方向から）

近世堆積層掘削状況
（北西方向から）

人口枡検出状況(南方向から)

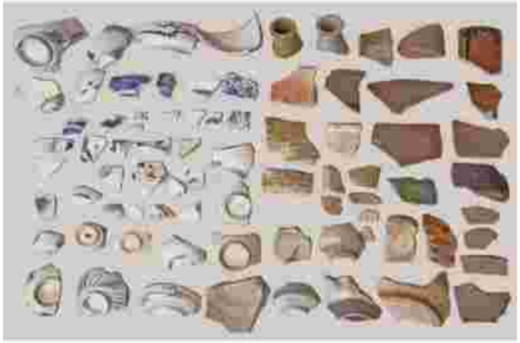
杭検出状況（南方向から）

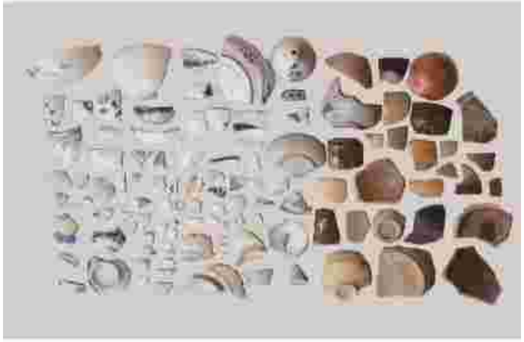
近世堆積層完掘状況
（南方向から）

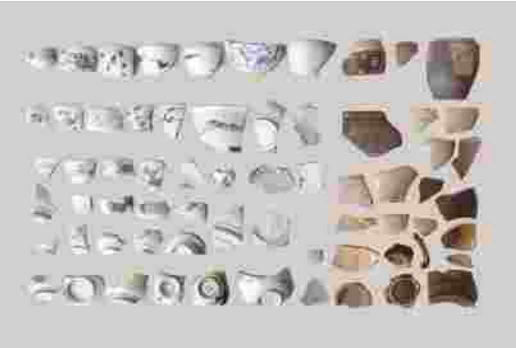
近世堆積層確認状況
（北西方向から）

近世埋土確認状況
（南西方向から）

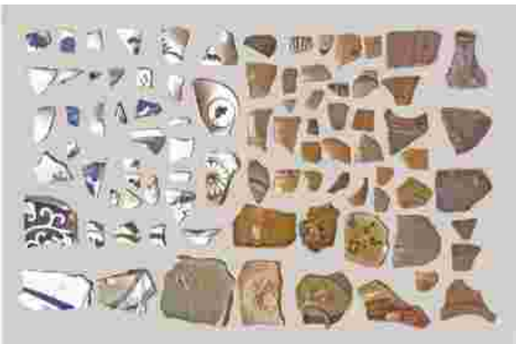
試掘坑①出土遺物

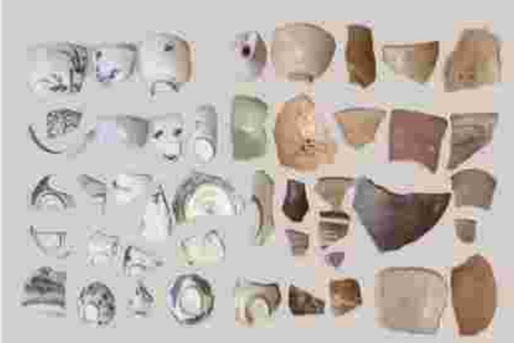

1-O5第 1 整地層（現代）陶磁器･土器

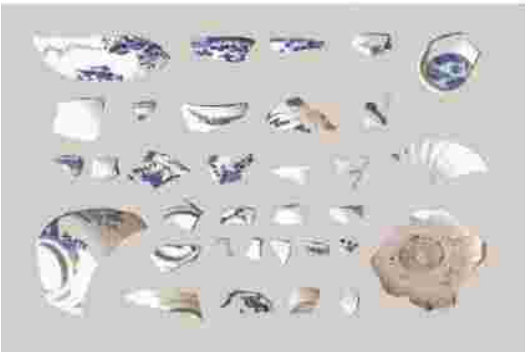

1-O5第 2 整地層（近代以降）陶磁器・土器


1-O5第 3 整地層（近世）陶磁器･土器

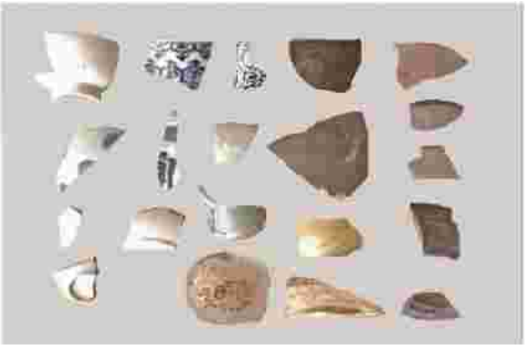
1-P5第 1 整地層（現代）陶磁器･土器


1-P5第2整地層（近代以降）陶磁器


1-P5第3整地層（近世）陶磁器･土器



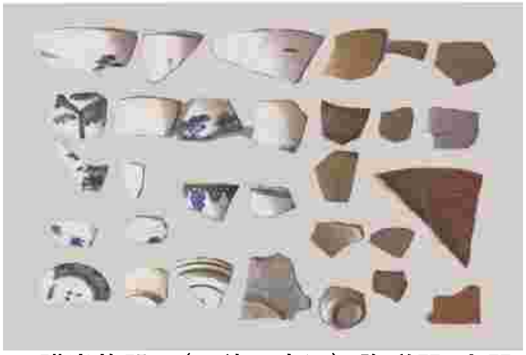
1-P6第１整地層（現代）磁器



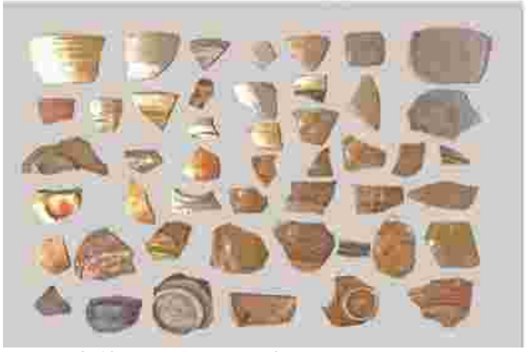
1-P6第１整地層（現代）陶磁器･土器

1-P6第２整地層（近代以降）陶器

1-P6第３整地層（近世）陶磁器



1-護岸施設１(石積Ａ裏込）陶磁器･土器



1-石積前面一括１　陶器

1-石積前面一括２　陶器

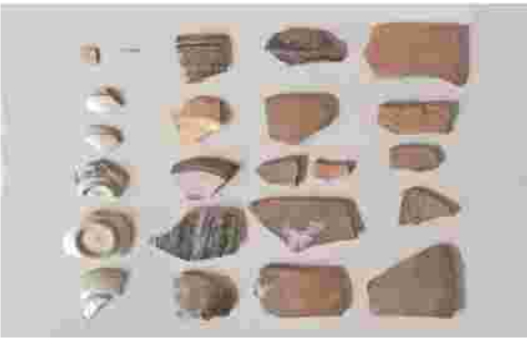
1-石積前面一括３　陶器･土器

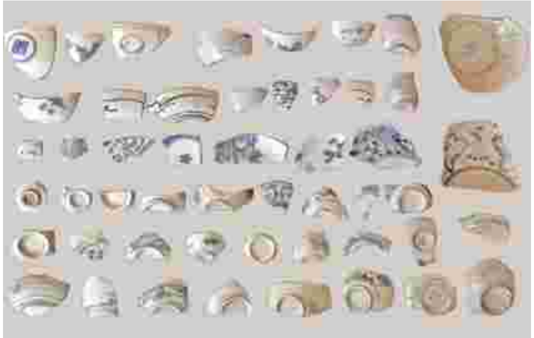
1-石積前面一括４　陶器･土器

1-石積前面一括５　磁器

1-石積前面一括６　磁器

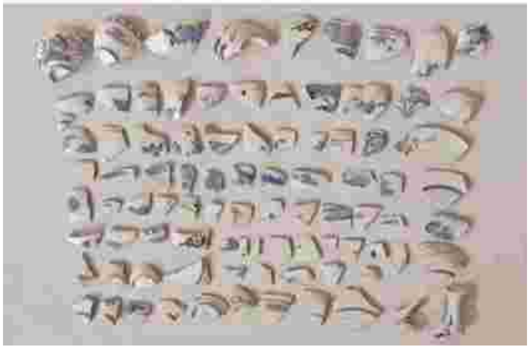
試掘坑②出土遺物



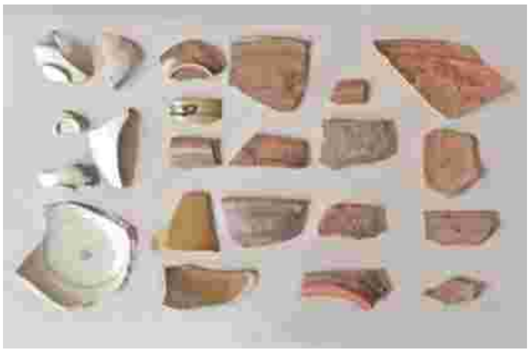


2-A第2整地層（近代以降）陶磁器･土器

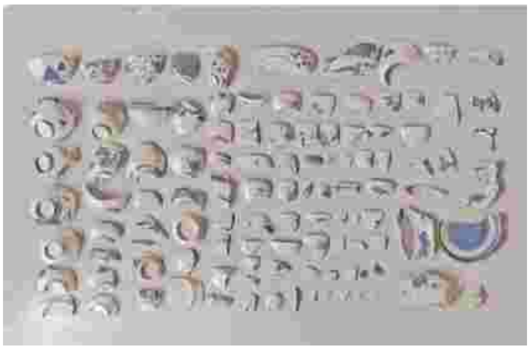
2-A第3整地層（近世）磁器1


2-A第3整地層（近世）磁器 2

2-A第3整地層（近世）陶器･土器


2-B第1整地層（現代）陶磁器･土器

2-B第2整地層(近代以降)陶磁器･土器･ｶﾞﾗｽ瓶


2-B第3整地層（近世）磁器

2-B第3整地層（近世）陶器

2-C第２整地層 （近代以降）磁器 1

2-C第２整地層 （近代以降）磁器 2

2-C第２整地層 （近代以降）陶器１

2-C第２整地層 （近代以降）陶器２

2-C第２整地層 （近代以降）土器

2-C第３整地層 （近世）磁器

2-C第３整地層 （近世）陶器１

2-C第３整地層 （近世）陶器２

2-C第３整地層 （近世）土器

試掘坑③出土遺物

3-A第１整地層　（現代）陶器・土器

3-A第２整地層　（近代以降）陶器

3-A第３整地層　（近世）磁器１

3-A第３整地層　（近世）磁器２

3-A第３整地層　（近世）磁器３

3-A第３整地層　（近世）磁器４

3-A第３整地層（近世）陶器１

3-A第３整地層（近世）陶器２

3-A第３整地層（近世）陶器３

3-A第３整地層（近世）土器

3-A第３整地層上（近世）磁器

3-A第３整地層上（近世）陶器・土器

3-B第１整地層（現代）磁器

3-B第１整地層（現代）陶器・土器

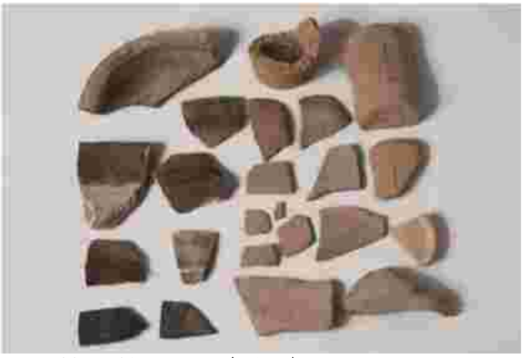
3-B第２整地層 （近代以降）磁器

3-B第２整地層 （近代以降）陶器･土器

3-B第３整地層 （近世）磁器

3-B第３整地層 （近世）陶器１

3-B第３整地層 （近世）陶器2


3-B第３整地層 （近世）土器

3-C第１整地層 （現代）陶磁器

3-C第２整地層 （近代以降）磁器

3-C第２整地層 （近代以降）陶器･土器

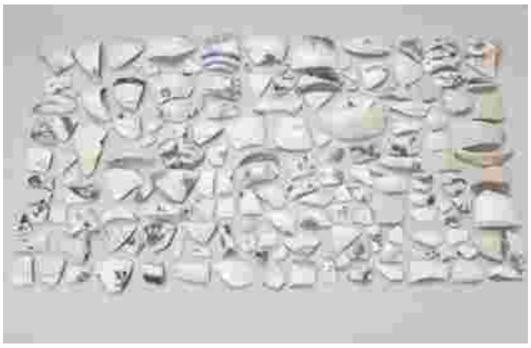
3-C第３整地層 （近世）磁器

3-C第３整地層 （近世）陶器･土器

3-D表土 （現代）陶磁器･土器

3-D第１整地層 （現代）陶磁器･土器

3-D第２整地層 （近代以降）陶磁器


3-D第３整地層 （近世）磁器 1

3-D第３整地層 （近世）磁器 2

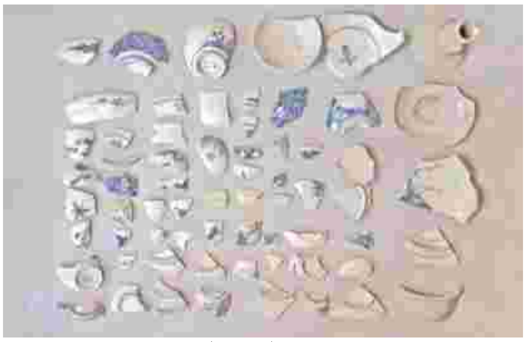
3-D第３整地層（近世）陶器

3-D第３整地層（近世）土器

3-D第３整地層上（近世）陶磁器･土器

試掘坑④出土遺物

4-A第2整地層（近代以前）陶磁器･土器

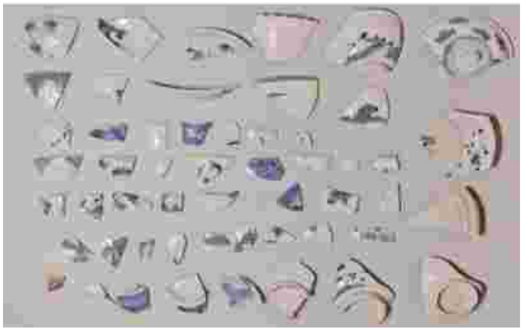


4-A第3整地層（近世）磁器

4-A第3整地層（近世）陶器

4-B第1整地層（現代）磁器

4-B第1整地層（現代）陶磁器･土器


4-B第2整地層（近代以降）磁器

4-B第2整地層（近代以前）陶器･土器

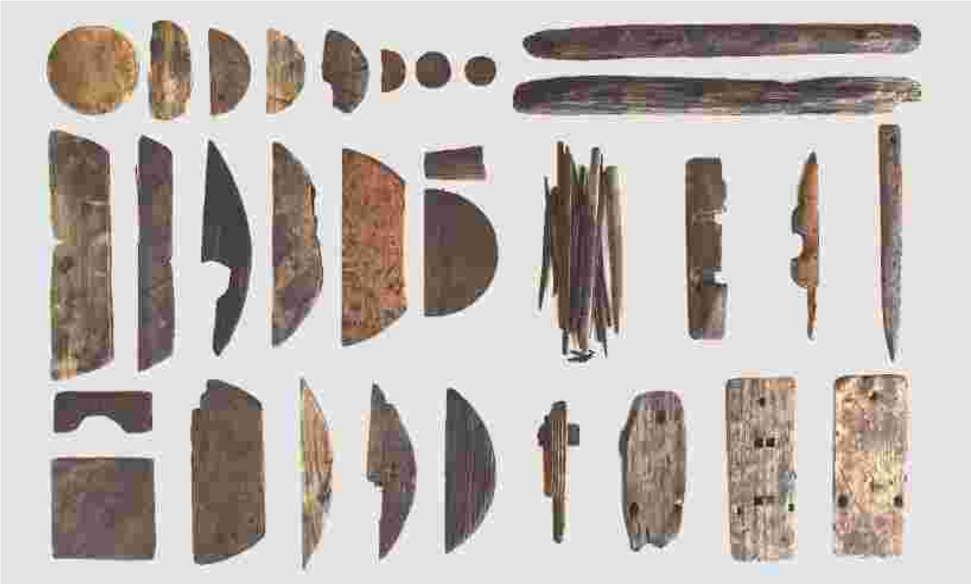
4-B第3整地層（近世）磁器

4-B第3整地層（近世）陶器

木製品

試掘①O5ー第３整地層(近世)

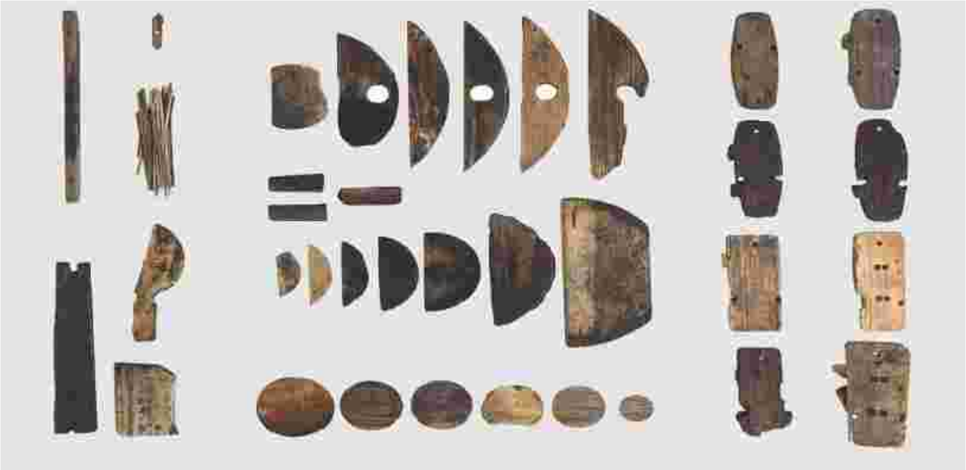
試掘②Ｂー第３整地層(近世)



試掘②Ａー第３整地層(近世)

試掘②Ｃー第３整地層(近世)

試掘④Ａ・Ｂー第３整地層(近世)



試掘③Ａー第３整地層(近世)

木製品（漆製品）

試掘③Ａー第３整地層(近世)

試掘③Ｂ～Ｄー第３整地層(近世)

試掘②Ａ・Ｃー第３整地層(近世)

その他の遺物

銭貨「寛永通宝」試掘坑②・③
（近世の整地層）

煙管　試掘坑②・④
（近世の整地層内出土）

砥石　試掘坑①・③
（近世の整地層内出土）

レンガ刻印(近代の整地層内出土)

「桜花」４点
試掘坑①3点
試掘坑④1点

「輪違い」９点
試掘坑①8点
試掘坑③1点

「二」ヵ４点
試掘坑③1点
試掘坑④3点

「扇」23点
試掘坑①18点、試掘坑②1点
試掘坑④4点

「八」ヵ７点
試掘坑①3点、試掘坑③1点
試掘坑④3点

「矢筈」ヵ１点
試掘坑①1点

「工」ヵ１点
試掘坑①1点

「不明」８点
試掘坑①6点
試掘坑④2点

出土遺物（木杭・柱材類）

１　２　３　４　５　６　７　８　９　１０

１１　１２　１３　１４　１５　１６　１７　１８　１９

＊出土地点　［ 試掘坑①・・・１～６、試掘坑②・・・７、試掘坑③・・・８～16、試掘坑④・・・17～19 ］